

海津市
人権に関する市民意識調査
結果報告書

平成 29 年 3 月

海津市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1.	回答者属性	2
2.	人権問題全般について	6
3.	女性の人権について	14
4.	子どもの人権について	19
5.	高齢者の人権について	25
6.	障がいのある人の人権について	29
7.	同和問題について	33
8.	日本に居住する外国人の人権について	42
9.	H I V感染者・ハンセン病患者等の人権について	46
10.	刑を終えて出所した人の人権について	51
11.	犯罪被害者とその家族の人権について	55
12.	インターネットによる人権侵害について	59
13.	ホームレスの人権について	64
14.	性的指向の異なる人（同性愛、両性愛など）の人権について	68
15.	性同一性障がい者（「からだの性」と「こころの性」が一致していない状態） の人権について	72
16.	今後の人権教育啓発について	76

I 調査の概要

1 調査の目的

「海津市人権教育・啓発基本計画」の見直しの基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

海津市在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成28年8月12日から平成28年8月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	656通	32.8%

6 調査結果の表示方法

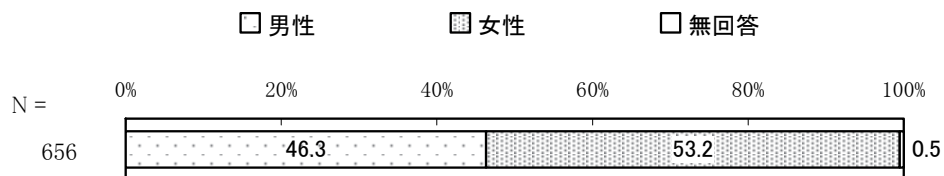
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1. 回答者属性

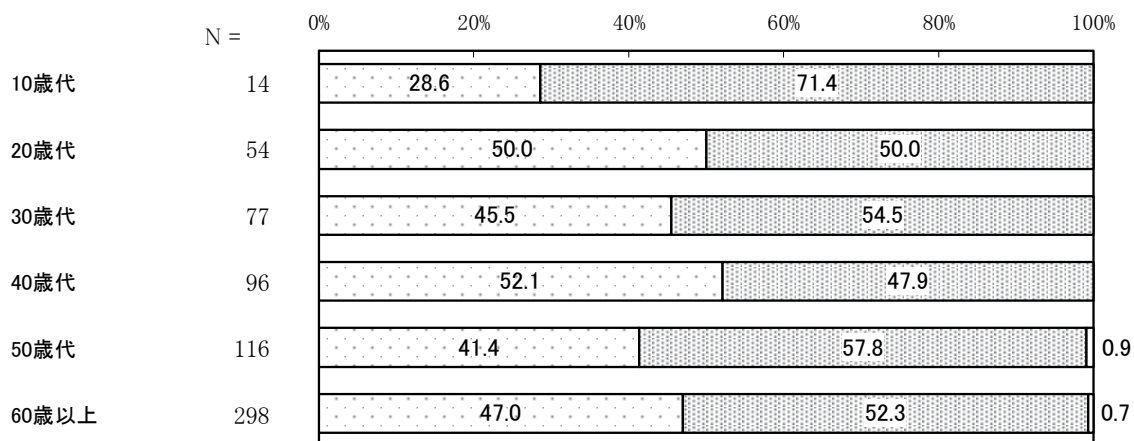
問1 あなたの性別は？

「男性」の割合が46.3%、「女性」の割合が53.2%となっています。



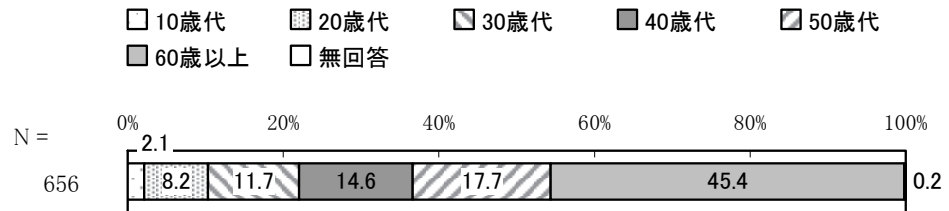
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、40歳代で「男性」の割合が高くなっています。また、10歳代で「女性」の割合が高くなっています。



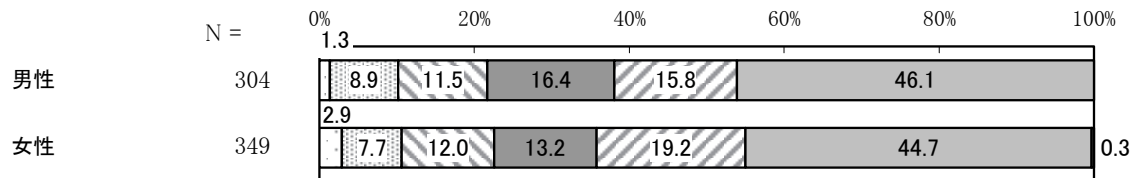
問2 あなたの年齢は？

「60歳以上」の割合が45.4%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が17.7%、「40歳代」の割合が14.6%となっています。



【性別】

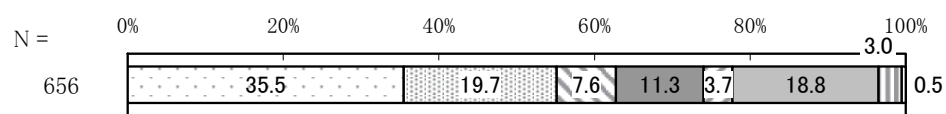
性別でみると、大きな差異はみられません。



問3 あなたの職業は？（1つだけ）

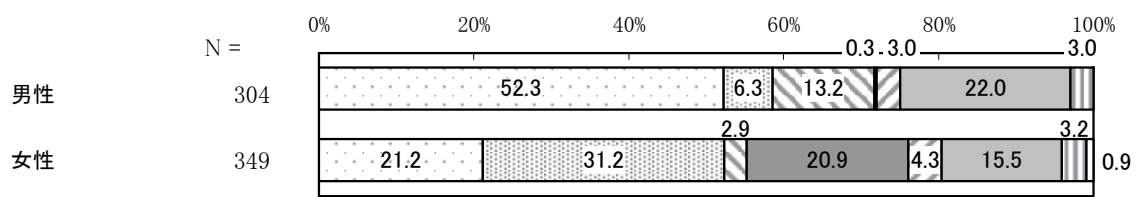
「会社員（役員、会社員、公務員、団体職員を含む）」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「パート、アルバイト（内職含む）」の割合が 19.7%、「無職」の割合が 18.8%となっています。

- 会社員（役員、会社員、公務員、団体職員を含む）
- パート、アルバイト（内職含む）
- 経営者（農林水産業・商工業・サービス業等個人事業主、会社経営者など）
- 家事専業
- 学生
- 無職
- その他
- 無回答



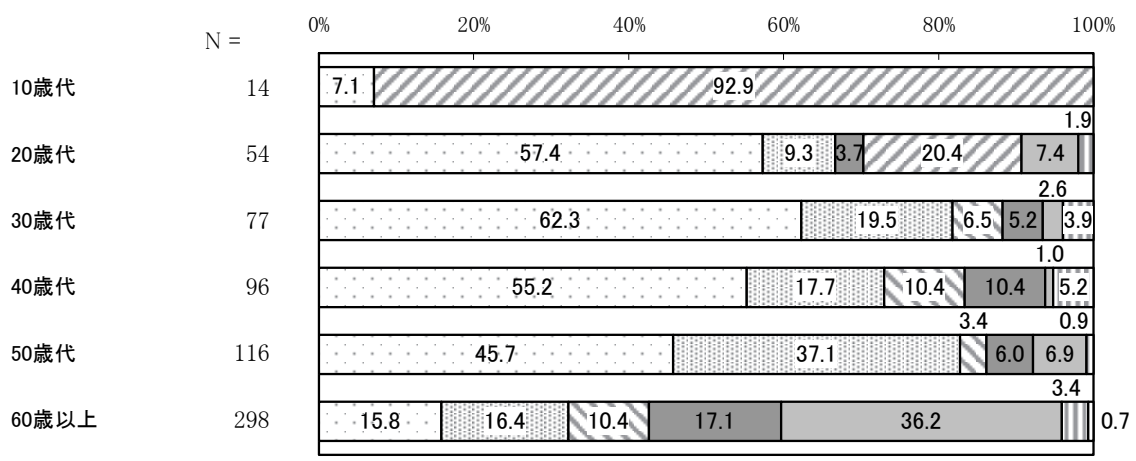
【性別】

性別でみると、女性で「パート、アルバイト（内職含む）」「家事専業」の割合が高くなっています。また、男性で「会社員（役員、会社員、公務員、団体職員を含む）」「経営者（農林水産業・商工業・サービス業等個人事業主、会社経営者など）」「無職」の割合が高くなっています。



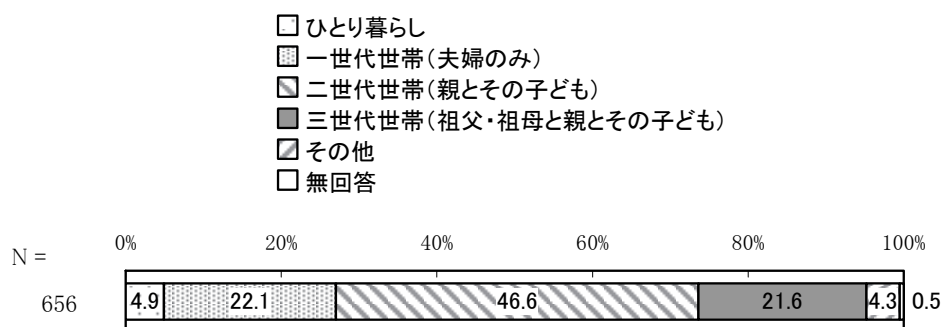
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「会社員（役員、会社員、公務員、団体職員を含む）」の割合が高くなっています。また、50歳代で「パート、アルバイト（内職含む）」の割合が高くなっています。



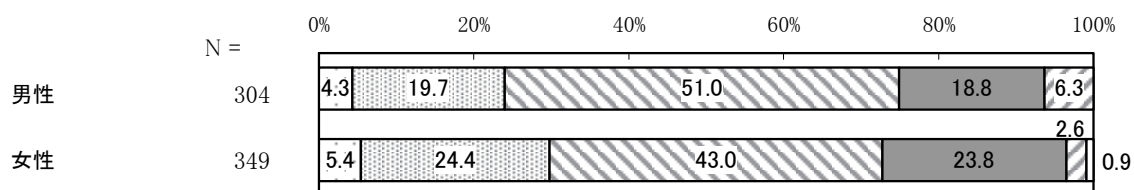
問4 あなたの家族構成は？（1つだけ）

「二世世代世帯（親とその子ども）」の割合が46.6%と最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」の割合が22.1%、「三世世代世帯（祖父・祖母と親とその子ども）」の割合が21.6%となっています。



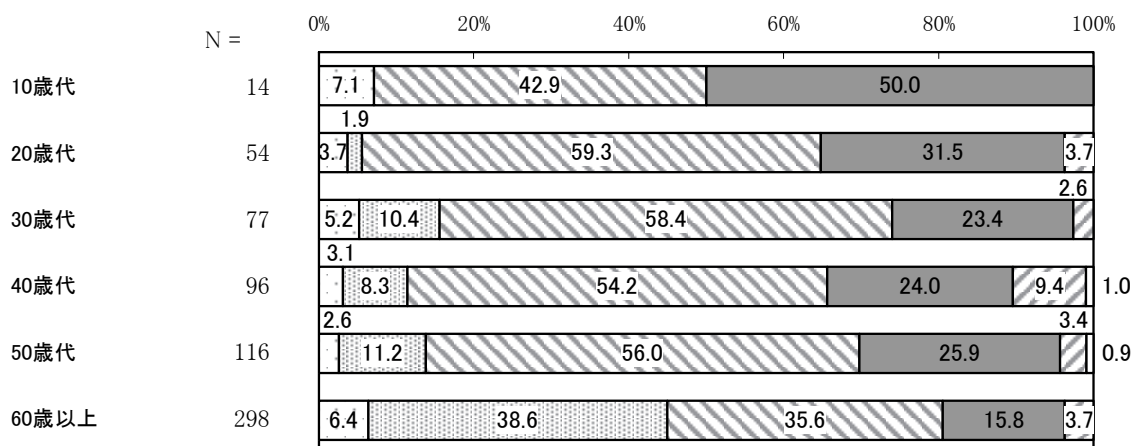
【性別】

性別でみると、女性で「三世世代世帯（祖父・祖母と親とその子ども）」の割合が高くなっています。また、男性で「二世世代世帯（親とその子ども）」の割合が高くなっています。



【年齢別】

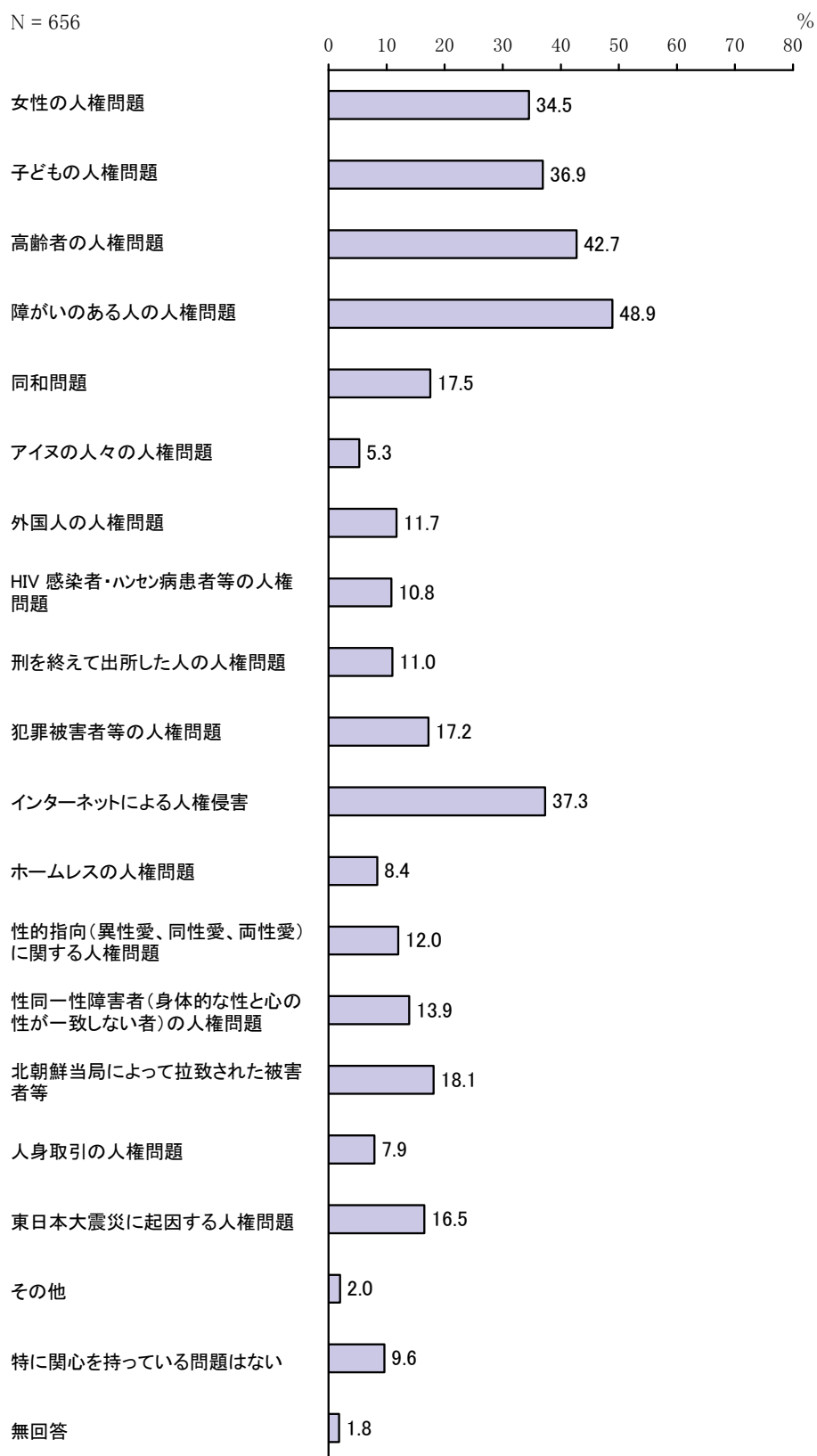
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「三世世代世帯（祖父・祖母と親とその子ども）」の割合が高くなっています。また、60歳以上で「一世代世帯（夫婦のみ）」の割合が高くなっています。



2. 人権問題全般について

問5 日本の社会にはいろいろな人権問題がありますが、その解消に取り組む必要があると思うことは何ですか。(いくつでも)

「障がいのある人の人権問題」の割合が48.9%と最も高く、次いで「高齢者の人権問題」の割合が42.7%、「インターネットによる人権侵害」の割合が37.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「女性の人権問題」「子どもの人権問題」「高齢者の人権問題」「障がいのある人の人権問題」「性同一性障害者（身体的な性と心の性が一致しない者）の人権問題」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	HIV感染者・ハンセン病患者等の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者等の人権問題
男性	304	29.3	32.6	37.8	46.4	18.4	5.9	13.5	10.9	12.8	18.1
女性	349	39.0	40.7	47.0	51.6	16.6	4.9	10.3	10.9	9.5	16.6

区分	インターネットによる人権侵害	ホームレスの人権問題	性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）に関する人権問題	性同一性障害者（身体的な性と心の性が一致しない者）の人権問題	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	人身取引の人権問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	特に関心を持っている問題はない	無回答
男性	39.5	8.6	11.2	10.2	19.1	8.2	12.5	2.6	12.2	2.0
女性	35.5	8.3	12.6	17.2	17.2	7.7	20.1	1.4	7.4	1.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「女性の人権問題」の割合が、10歳代で「人身取引の人権問題」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」の割合が高くなっています。

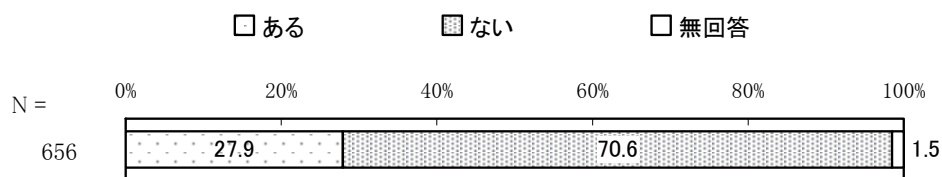
単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がいのある人の人権問題	同和問題	アイヌの人々の人権問題	外国人の人権問題	HIV感染者・ハンセン病患者等の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者等の人権問題
10歳代	14	42.9	28.6	28.6	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3
20歳代	54	33.3	31.5	29.6	40.7	18.5	5.6	20.4	9.3	18.5	14.8
30歳代	77	51.9	41.6	36.4	53.2	15.6	5.2	15.6	11.7	7.8	22.1
40歳代	96	41.7	38.5	35.4	44.8	16.7	5.2	8.3	10.4	10.4	17.7
50歳代	116	37.9	37.1	37.9	57.8	24.1	4.3	13.8	13.8	10.3	18.1
60歳以上	298	26.2	36.2	51.3	48.0	16.1	5.7	9.4	10.1	11.1	16.1

区分	インターネットによる人権侵害	ホームレスの人権問題	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)に関する人権問題	性同一性障害者(身体的な性と心の性が一致しない者)の人権問題	北朝鮮当局によって拉致された被害者等	人身取引の人権問題	東日本大震災に起因する人権問題	その他	特に関心を持っている問題はない	無回答
10歳代	28.6	14.3	21.4	21.4	7.1	14.3	—	—	14.3	—
20歳代	46.3	11.1	22.2	22.2	7.4	3.7	11.1	1.9	14.8	—
30歳代	40.3	9.1	20.8	26.0	13.0	9.1	11.7	1.3	3.9	—
40歳代	44.8	5.2	12.5	14.6	13.5	7.3	17.7	5.2	9.4	1.0
50歳代	46.6	7.8	7.8	12.9	18.1	7.8	19.0	2.6	9.5	1.7
60歳以上	29.2	8.7	9.1	9.1	23.5	8.1	17.8	1.0	10.1	3.0

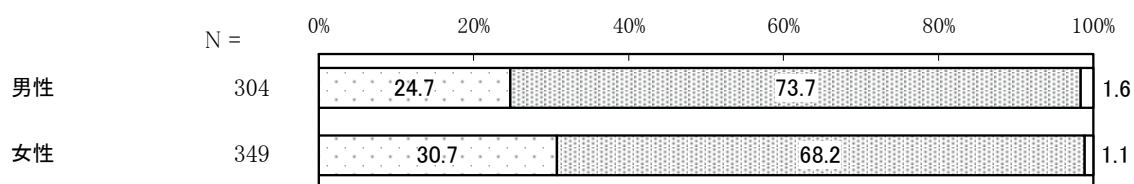
問6 これまでに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(1つだけ)

「ある」の割合が27.9%、「ない」の割合が70.6%となっています。



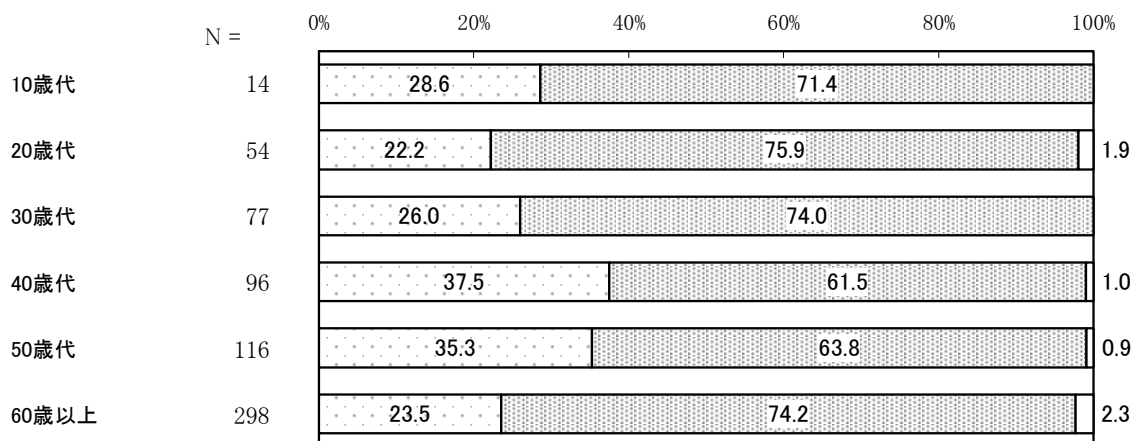
【性別】

性別で見ると、女性で「ある」の割合が高くなっています。



【年齢別】

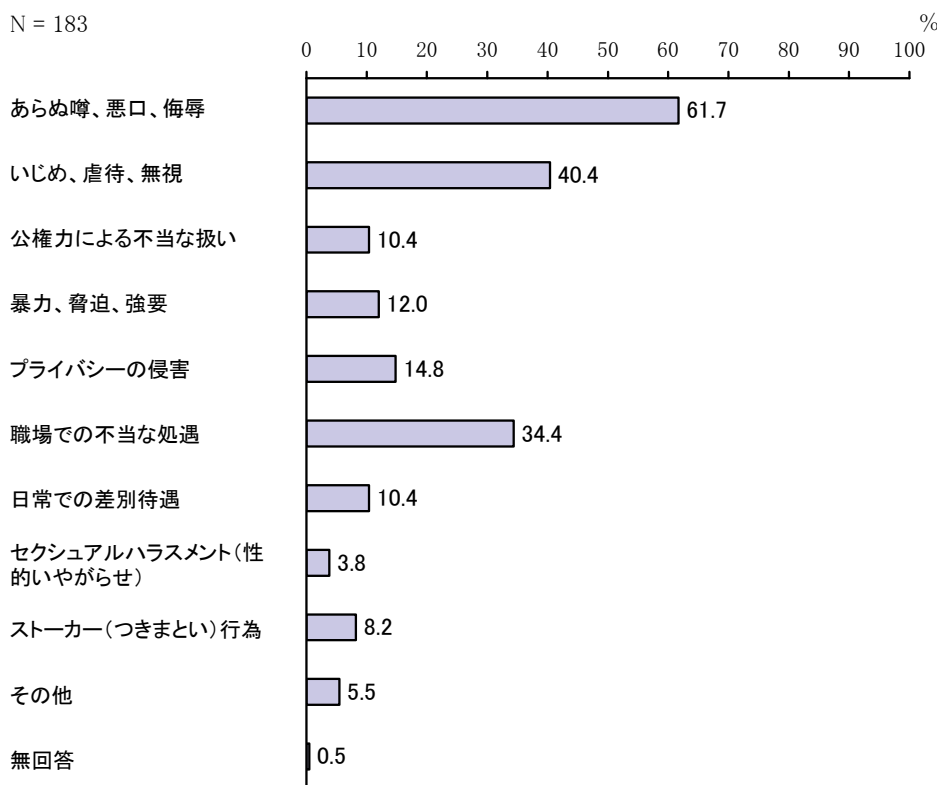
年齢別で見ると、他に比べ、40歳代、50歳代で「ある」の割合が高くなっています。



問6で「1. ある」と回答した方におたずねします。

問6-1 どのようなことで、人権が侵害されたと思いましたか。(いくつでも)

「あらぬ噂、悪口、侮辱」の割合が61.7%と最も高く、次いで「いじめ、虐待、無視」の割合が40.4%、「職場での不当な処遇」の割合が34.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「ストーカー（つきまとい）行為」の割合が高くなっています。また、男性で「あらぬ噂、悪口、侮辱」「公権力による不当な扱い」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	あらぬ噂、悪口、侮辱	いじめ、虐待、無視	公権力による不当な扱い	暴力、脅迫、強要	プライバシーの侵害	職場での不当な処遇	日常での差別待遇	セクシュアルハラスメント(性的いやがらせ)	ストーカー(つきまとい)行為	その他	無回答
男性	75	66.7	42.7	16.0	13.3	17.3	36.0	9.3	1.3	5.3	4.0	1.3
女性	107	58.9	38.3	6.5	11.2	13.1	33.6	11.2	5.6	10.3	6.5	—

【年齢別】

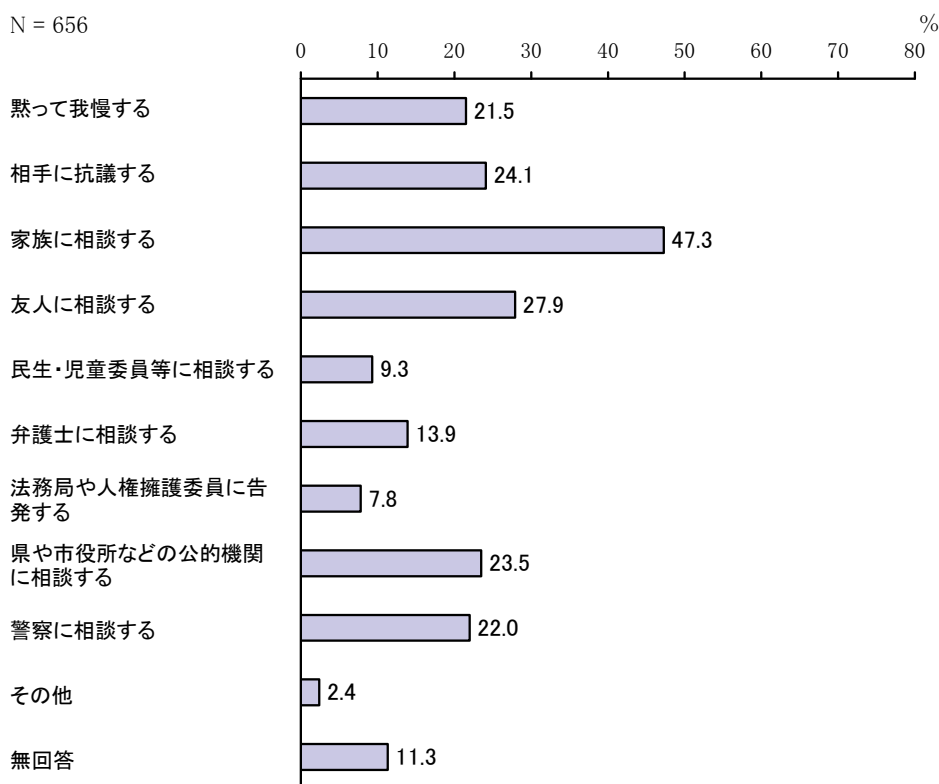
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「暴力、脅迫、強要」の割合が、30歳代で「いじめ、虐待、無視」の割合が高くなっています。また、50歳代で「職場での不当な処遇」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	あらぬ噂、悪口、侮辱	いじめ、虐待、無視	公権力による不当な扱い	暴力、脅迫、強要	プライバシーの侵害	職場での不当な処遇	日常での差別待遇	セクシュアルハラスメント(性的いやがらせ)	ストーカー(つきまとい)行為	その他	無回答
10歳代	4	100.0	100.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	12	58.3	33.3	16.7	33.3	8.3	33.3	8.3	—	8.3	8.3	—
30歳代	20	70.0	75.0	15.0	15.0	5.0	30.0	25.0	10.0	20.0	5.0	—
40歳代	36	58.3	36.1	11.1	11.1	22.2	33.3	2.8	2.8	11.1	5.6	—
50歳代	41	53.7	43.9	12.2	12.2	14.6	43.9	17.1	2.4	4.9	7.3	—
60歳以上	70	64.3	28.6	7.1	7.1	15.7	32.9	7.1	4.3	5.7	4.3	1.4

問7 もしも、人権侵害を受けたら、どのように対処しますか。(いくつでも)

「家族に相談する」の割合が47.3%と最も高く、次いで「友人に相談する」の割合が27.9%、「相手に抗議する」の割合が24.1%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「黙って我慢する」「家族に相談する」「友人に相談する」の割合が高くなっています。また、男性で「相手に抗議する」「弁護士に相談する」「法務局や人権擁護委員に告発する」「県や市役所などの公的機関に相談する」「警察に相談する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	黙って我慢する	相手に抗議する	家族に相談する	友人に相談する	民生・児童委員等に相談する	弁護士に相談する	法務局や人権擁護委員に告発する	県や市役所などの公的機関に相談する	警察に相談する	その他	無回答
男性	304	18.4	31.3	30.9	19.1	11.2	19.7	11.5	27.6	28.0	2.6	14.1
女性	349	24.1	18.1	61.6	35.5	7.7	8.9	4.6	19.8	16.9	2.0	8.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「友人に相談する」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「県や市役所などの公的機関に相談する」の割合が高くなる傾向がみられます。

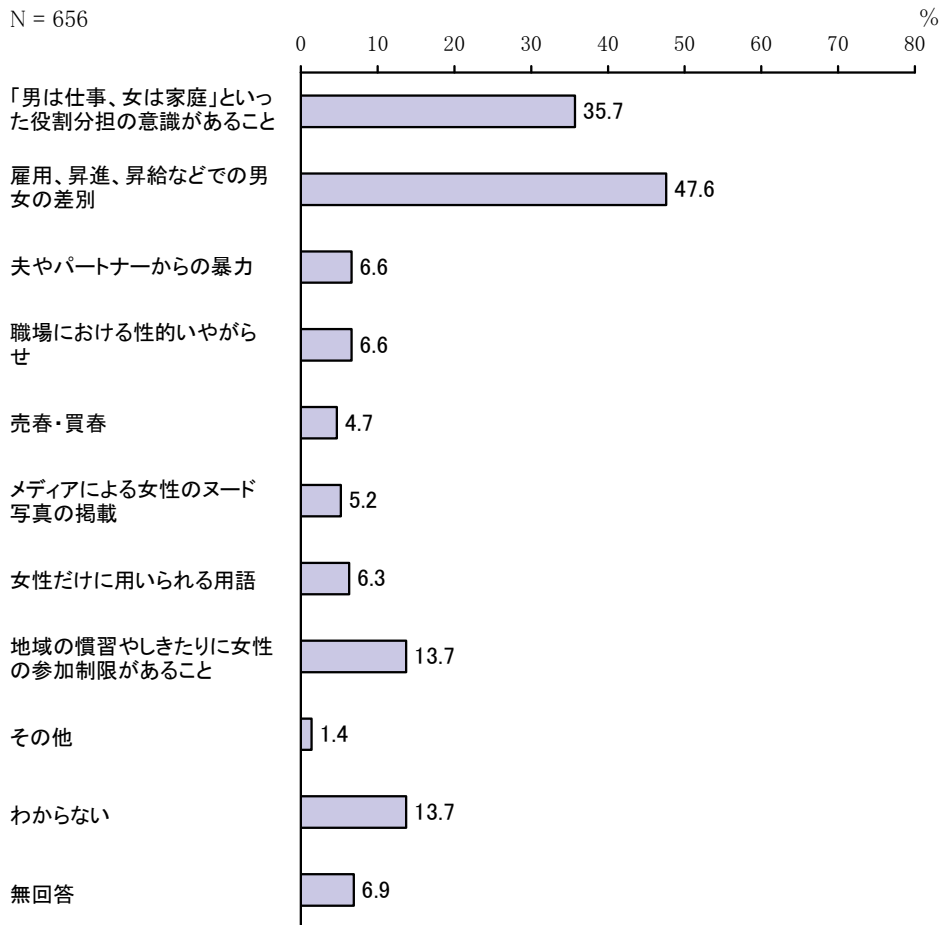
単位：%

区分	有効回答数 (件)	黙って我慢する	相手に抗議する	家族に相談する	友人に相談する	民生・児童委員等に相談する	弁護士に相談する	法務局や人権擁護委員に告発する	県や市役所などの公的機関に相談する	警察に相談する	その他	無回答
10歳代	14	42.9	35.7	42.9	57.1	7.1	7.1	7.1	—	14.3	—	7.1
20歳代	54	20.4	20.4	50.0	25.9	3.7	9.3	3.7	7.4	7.4	1.9	25.9
30歳代	77	27.3	22.1	45.5	32.5	2.6	15.6	3.9	16.9	15.6	2.6	22.1
40歳代	96	21.9	33.3	44.8	29.2	5.2	15.6	8.3	15.6	21.9	1.0	11.5
50歳代	116	22.4	23.3	49.1	26.7	1.7	11.2	6.9	19.8	18.1	6.0	11.2
60歳以上	298	18.5	22.1	47.7	25.5	16.4	15.1	9.7	33.2	28.2	1.7	6.0

3. 女性の人権について

問8 女性の人権が尊重されていないと思うことは何ですか。(2つまで)

「雇用、昇進、昇給などでの男女の差別」の割合が47.6%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家庭」といった役割分担の意識があること」の割合が35.7%、「地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること」、「わからない」の割合が13.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「男は仕事、女は家庭」といった役割分担の意識があること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	「男は仕事、女は家庭」といった役割分担の意識があること	雇用、昇進、昇給などでの男女の差別	夫やパートナーからの暴力	職場における性的いやがらせ	売春・買春	メディアによる女性のヌード写真の掲載	女性だけに用いられる用語	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	その他	わからない	無回答
男性	304	29.9	47.0	7.6	9.2	3.6	4.6	5.9	12.2	1.0	17.4	7.6
女性	349	40.7	48.4	5.7	4.3	5.7	5.7	6.3	15.2	1.7	10.3	6.0

【年齢別】

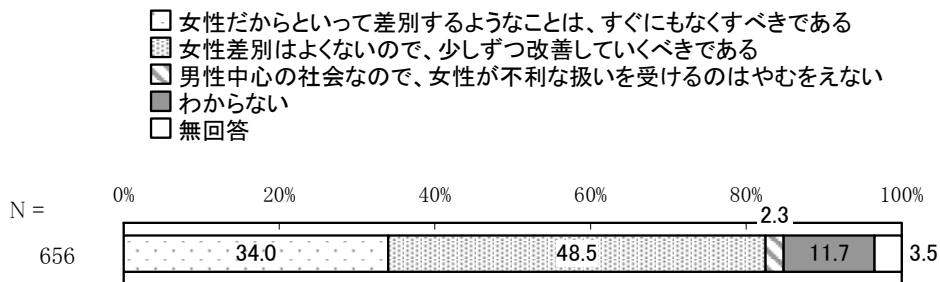
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「雇用、昇進、昇給などでの男女の差別」の割合が高くなっています。また、50歳代で「地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	「男は仕事、女は家庭」といった役割分担の意識があること	雇用、昇進、昇給などでの男女の差別	夫やパートナーからの暴力	職場における性的いやがらせ	売春・買春	メディアによる女性のヌード写真の掲載	女性だけに用いられる用語	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	その他	わからない	無回答
10歳代	14	28.6	64.3	7.1	14.3	—	—	7.1	7.1	—	14.3	—
20歳代	54	42.6	51.9	7.4	11.1	7.4	5.6	3.7	7.4	5.6	9.3	1.9
30歳代	77	40.3	51.9	10.4	14.3	1.3	3.9	2.6	13.0	—	6.5	3.9
40歳代	96	40.6	44.8	5.2	7.3	1.0	2.1	7.3	10.4	2.1	14.6	11.5
50歳代	116	34.5	44.8	8.6	2.6	6.9	3.4	6.0	21.6	1.7	13.8	5.2
60歳以上	298	32.6	46.6	5.0	4.7	5.7	7.4	7.4	13.4	0.7	16.1	8.1

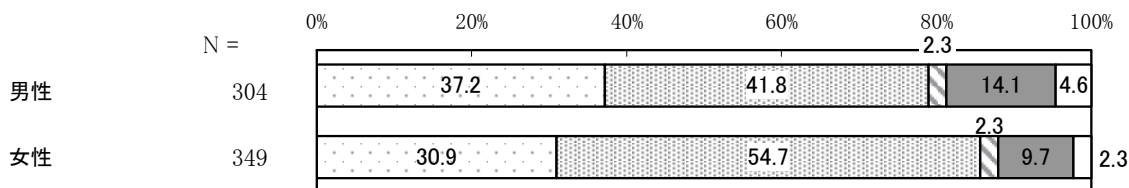
問9 家庭や地域、あるいは職場で「女のくせに」と言われたり、「女性だから」ということで不利な扱いを受けたりする場面があることをどう思いますか。(1つだけ)

「女性差別はよくないので、少しずつ改善していくべきである」の割合が48.5%と最も高く、次いで「女性だからといって差別するようなことは、すぐにもなくすべきである」の割合が34.0%、「わからない」の割合が11.7%となっています。



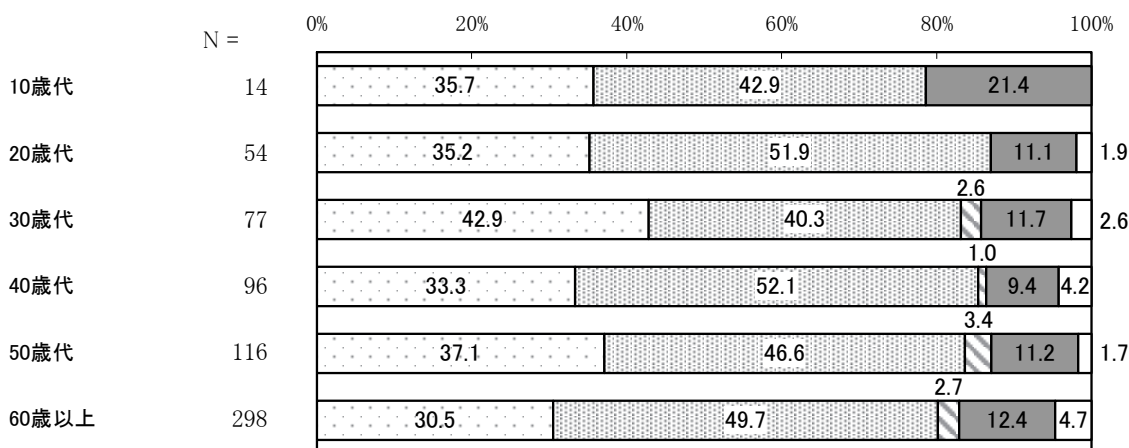
【性別】

性別でみると、女性で「女性差別はよくないので、少しずつ改善していくべきである」の割合が高くなっています。また、男性で「女性だからといって差別するようなことは、すぐにもなくすべきである」の割合が高くなっています。



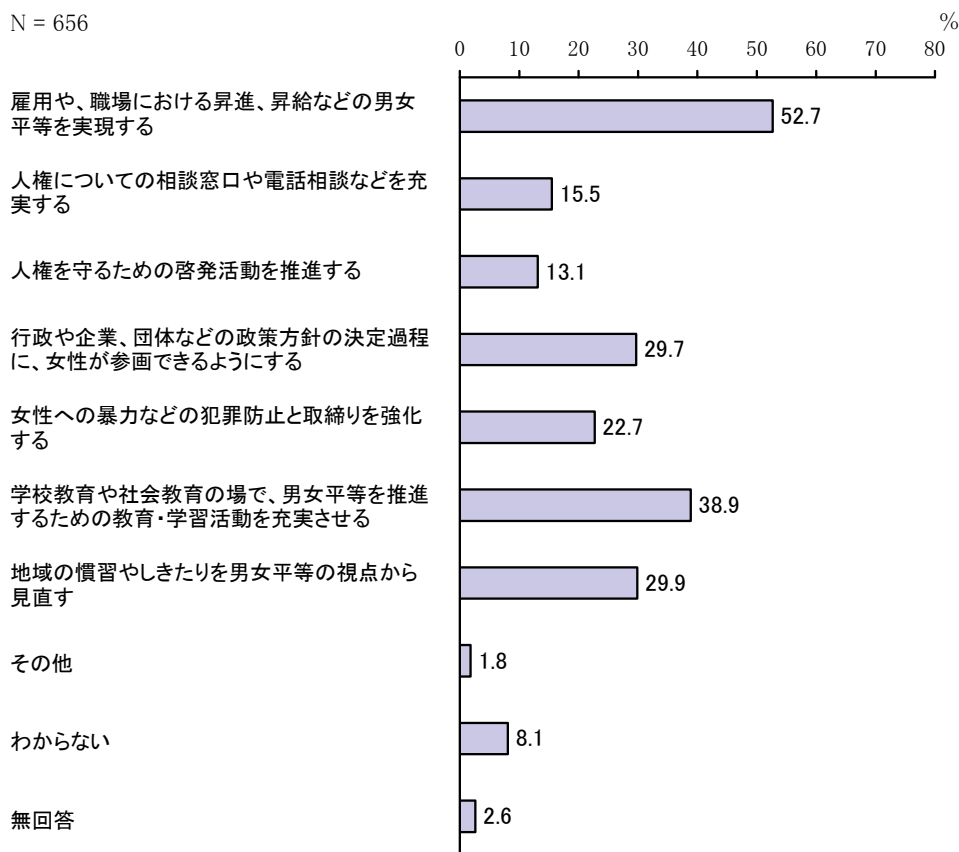
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「女性だからといって差別するようなことは、すぐにもなくすべきである」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「女性差別はよくないので、少しずつ改善していくべきである」の割合が高くなっています。



問10 女性の人権を守るために必要なことは、何だと思えますか。(3つまで)

「雇用や、職場における昇進、昇給などの男女平等を実現する」の割合が52.7%と最も高く、次いで「学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる」の割合が38.9%、「地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す」の割合が29.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「雇用や、職場における昇進、昇給などの男女平等を実現する」「女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する」「学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	雇用や、職場における昇進、昇給などの男女平等を実現する	人権についての相談窓口や電話相談などを充実する	人権を守るための啓発活動を推進する	行政や企業、団体などの政策方針の決定過程に、女性が参画できるようにする	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	その他	わからない	無回答
男性	304	50.0	14.8	14.1	34.9	17.4	34.5	29.6	2.3	10.9	3.9
女性	349	55.6	16.3	12.3	24.9	27.2	42.7	29.8	1.4	5.7	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「雇用や、職場における昇進、昇給などの男女平等を実現する」の割合が高くなる傾向がみられます。

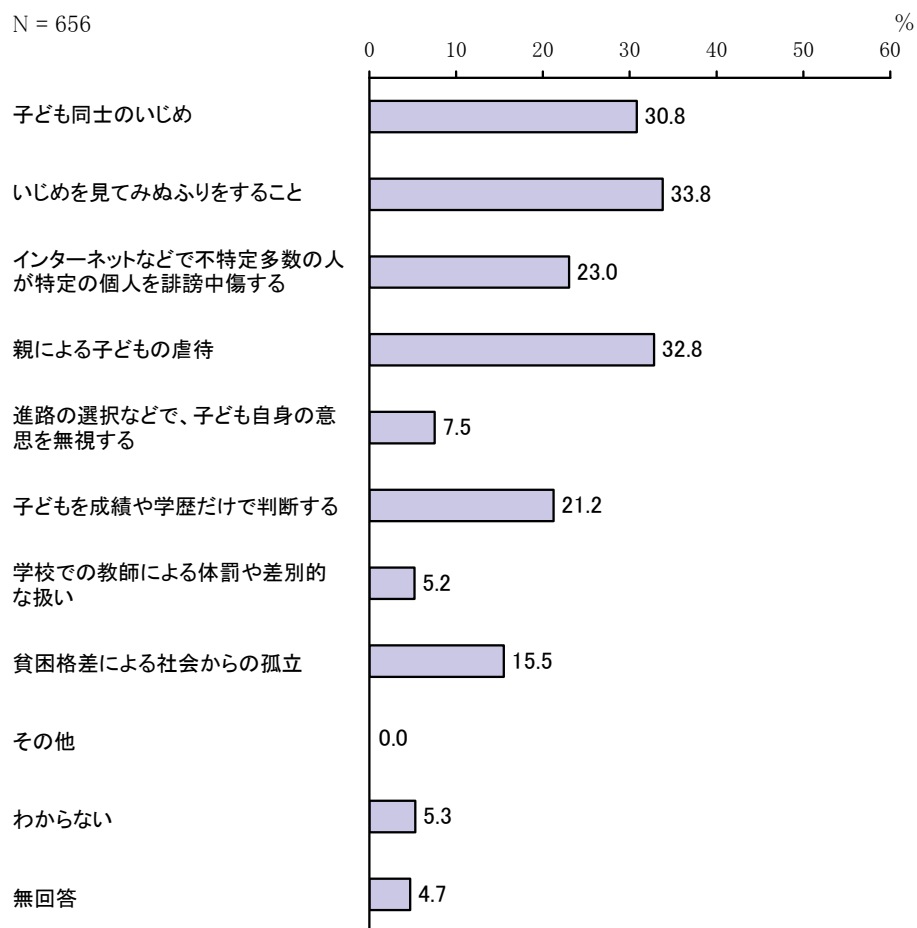
単位：％

区分	有効回答数（件）	雇用や、職場における昇進、昇給などの男女平等を実現する	人権についての相談窓口や電話相談などを充実する	人権を守るための啓発活動を推進する	行政や企業、団体などの政策方針の決定過程に、女性が参画できるようにする	女性への暴力などの犯罪防止と取締りを強化する	学校教育や社会教育の場で、男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	地域の慣習やしきたりを男女平等の視点から見直す	その他	わからない	無回答
10歳代	14	64.3	21.4	21.4	7.1	14.3	28.6	28.6	—	14.3	—
20歳代	54	61.1	14.8	9.3	33.3	24.1	33.3	16.7	5.6	11.1	—
30歳代	77	58.4	10.4	9.1	24.7	28.6	40.3	28.6	2.6	6.5	2.6
40歳代	96	57.3	14.6	8.3	31.3	33.3	42.7	24.0	4.2	6.3	—
50歳代	116	48.3	13.8	17.2	37.1	18.1	36.2	35.3	0.9	9.5	0.9
60歳以上	298	49.7	17.8	14.1	27.9	19.8	39.9	32.6	0.7	7.7	4.7

4. 子どもの人権について

問11 子どもの人権が尊重されていないと思うことは何ですか。(2つまで)

「いじめを見てみぬふりをする事」の割合が33.8%と最も高く、次いで「親による子どもの虐待」の割合が32.8%、「子ども同士のいじめ」の割合が30.8%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「親による子どもの虐待」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ	いじめを見てみぬふりをする	インターネットなどで不特定多数の人が特定の個人を誹謗中傷する	親による子どもの虐待	子ども自身の意思を無視する	進路の選択などで、子どもを成績や学歴だけで判断する	学校での教師による体罰や差別的な扱い	貧困格差による社会からの孤立	その他	わからない	無回答
男性	304	30.6	34.5	25.3	29.6	7.6	18.8	5.9	13.5	—	7.2	4.6
女性	349	30.9	33.0	21.2	35.5	7.2	23.2	4.6	17.5	—	3.7	4.9

【年齢別】

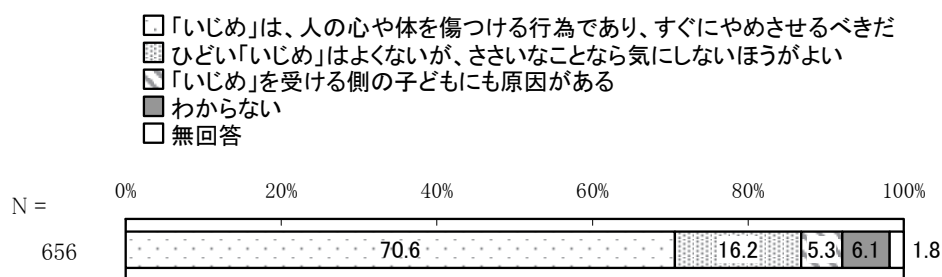
年齢別でみると、他に比べ、10歳代、30歳代で「親による子どもの虐待」の割合が高くなっています。また、20歳代で「進路の選択などで、子ども自身の意思を無視する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ	いじめを見てみぬふりをする	インターネットなどで不特定多数の人が特定の個人を誹謗中傷する	親による子どもの虐待	子ども自身の意思を無視する	進路の選択などで、子どもを成績や学歴だけで判断する	学校での教師による体罰や差別的な扱い	貧困格差による社会からの孤立	その他	わからない	無回答
10歳代	14	14.3	21.4	28.6	42.9	—	21.4	7.1	14.3	—	14.3	—
20歳代	54	35.2	27.8	24.1	29.6	22.2	14.8	5.6	18.5	—	7.4	1.9
30歳代	77	36.4	37.7	27.3	41.6	6.5	23.4	3.9	10.4	—	1.3	1.3
40歳代	96	33.3	26.0	29.2	27.1	8.3	16.7	6.3	16.7	—	6.3	5.2
50歳代	116	25.0	31.0	27.6	30.2	4.3	23.3	6.9	19.0	—	6.0	6.0
60歳以上	298	30.9	38.3	17.8	33.6	6.4	22.5	4.4	14.8	—	5.0	5.4

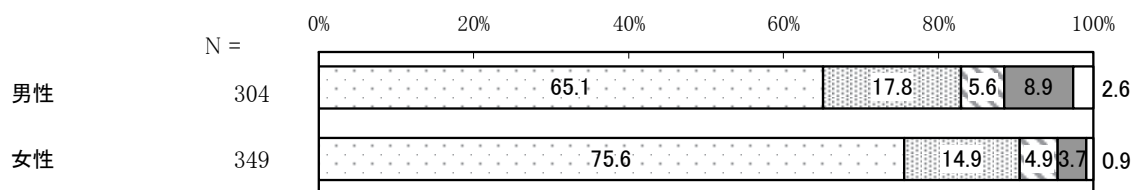
問12 子ども同士の「いじめ」によって仲間はずれにされたり、時には自殺にまで追いやられる事例が起きています。このような、「いじめ」について、どう思いますか。（1つだけ）

「いじめ」は、人の心や体を傷つける行為であり、すぐにやめさせるべきだ」の割合が70.6%と最も高く、次いで「ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしないほうがよい」の割合が16.2%となっています。



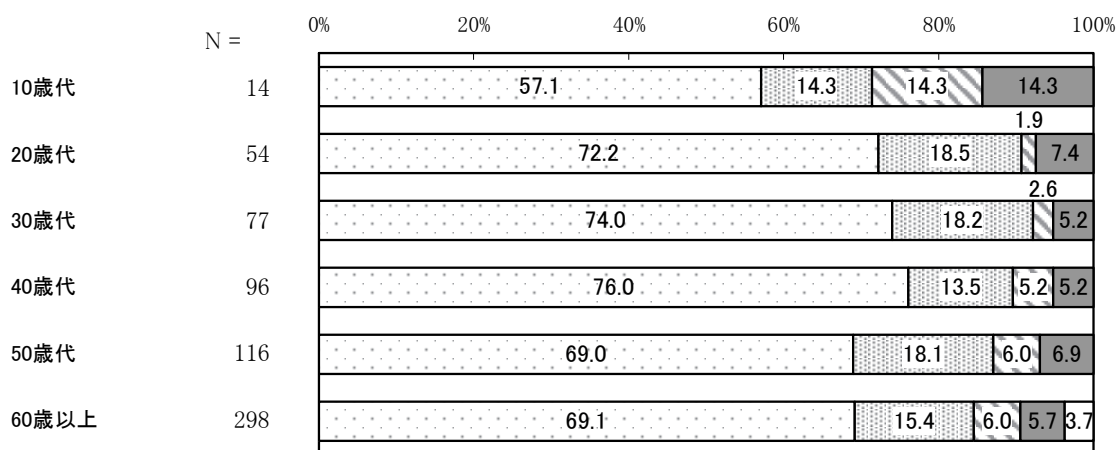
【性別】

性別でみると、女性で「いじめ」は、人の心や体を傷つける行為であり、すぐにやめさせるべきだ」の割合が高くなっています。



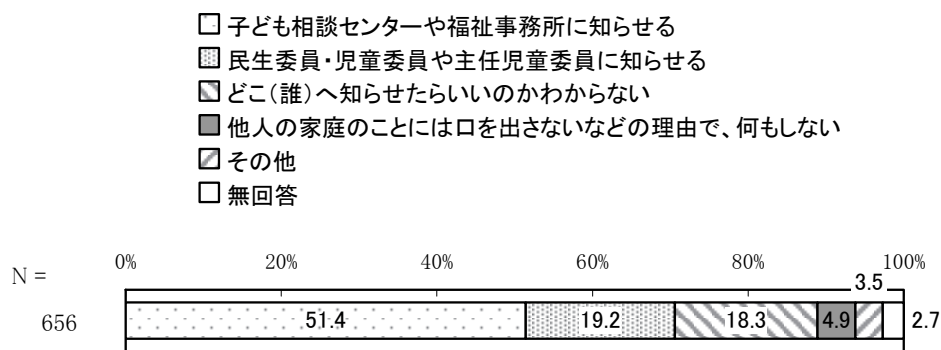
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代から40歳代で「いじめ」は、人の心や体を傷つける行為であり、すぐにやめさせるべきだ」の割合が高くなっています。また、10歳代で「いじめ」を受ける側の子どもにも原因がある」の割合が高くなっています。



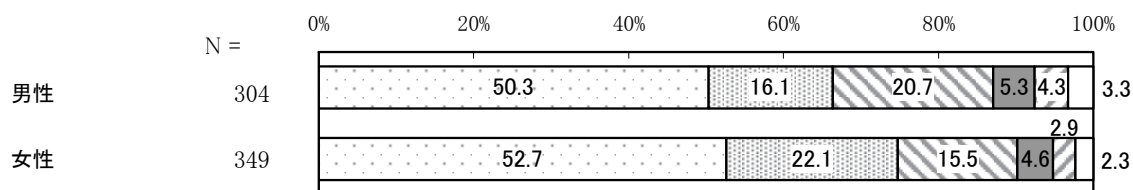
問 13 児童虐待を発見したら、どうしますか。(1つだけ)

「子ども相談センターや福祉事務所に知らせる」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員や主任児童委員に知らせる」の割合が 19.2%、「どこ（誰）へ知らせたらいいのかわからない」の割合が 18.3%となっています。



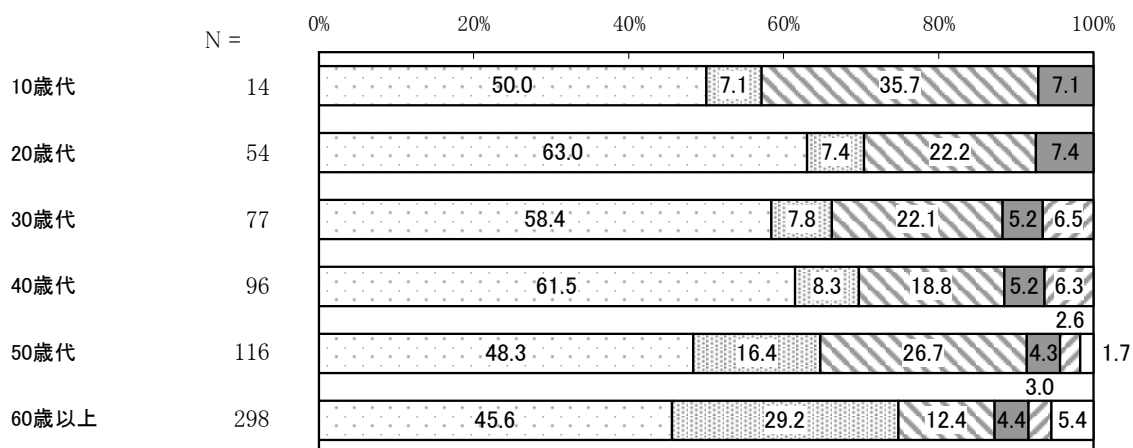
【性別】

性別でみると、女性で「民生委員・児童委員や主任児童委員に知らせる」の割合が高くなっています。また、男性で「どこ（誰）へ知らせたらいいのかわからない」の割合が高くなっています。



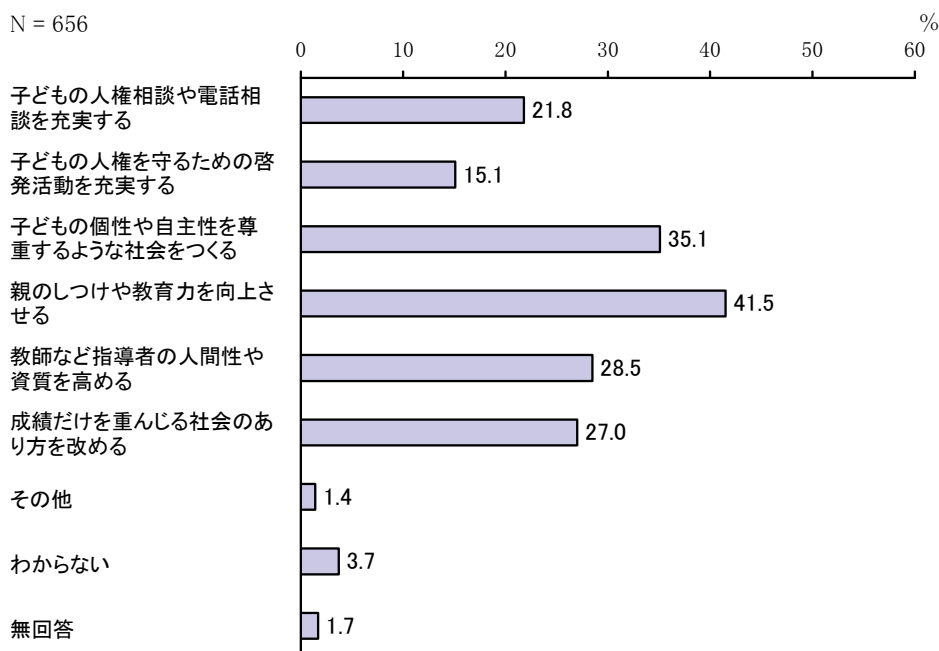
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代、40歳代で「子ども相談センターや福祉事務所に知らせる」の割合が高くなっています。また、10歳代で「どこ（誰）へ知らせたらいいのかわからない」の割合が高くなっています。



問 14 子どもの人権を守るために必要なことは、何だと思えますか。(2つまで)

「親のしつけや教育力を向上させる」の割合が 41.5%と最も高く、次いで「子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」の割合が 35.1%、「教師など指導者の人間性や資質を高める」の割合が 28.5%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子どもの人権相談や電話相談を充実する	子どもの人権を守るための啓発活動を充実する	子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる	親のしつけや教育力を向上させる	教師など指導者の人間性や資質を高める	成績だけを重んじる社会のあり方を改める	その他	わからない	無回答
男性	304	21.1	16.8	30.9	43.8	29.6	25.3	1.0	4.3	2.6
女性	349	22.6	13.8	38.4	39.3	27.8	28.4	1.7	3.2	0.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「子どもの人権を守るための啓発活動を充実する」「子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる」「教師など指導者の人間性や資質を高める」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「子どもの人権相談や電話相談を充実する」の割合が高くなる傾向がみられます。

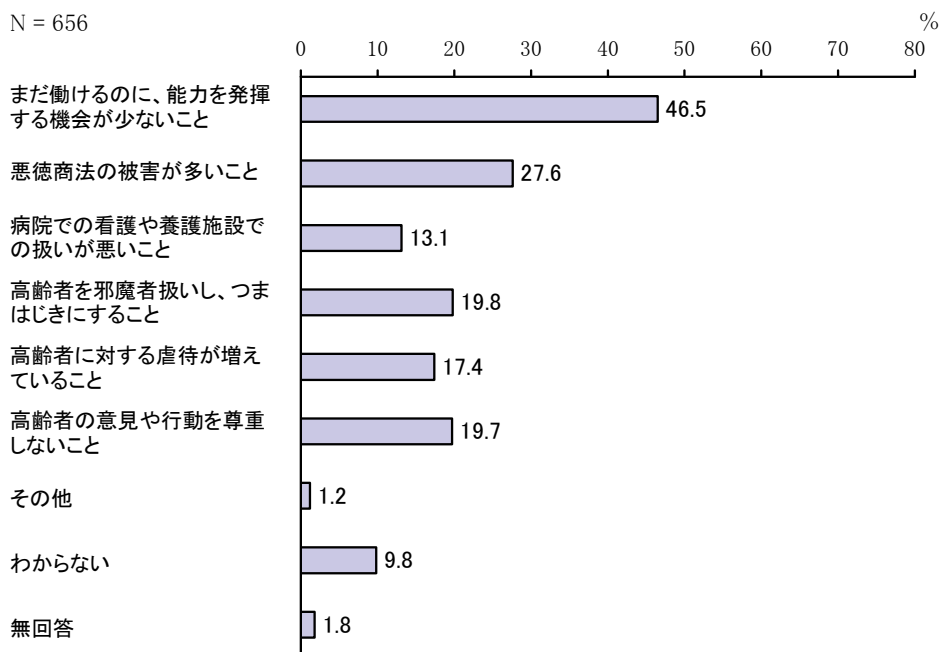
単位：％

区分	有効回答数(件)	子どもの人権相談や電話相談を充実する	子どもの人権を守るための啓発活動を充実する	子どもの個性や自主性を尊重するような社会をつくる	親のしつけや教育力を向上させる	教師など指導者の人間性や資質を高める	成績だけを重んじる社会のあり方を改める	その他	わからない	無回答
10歳代	14	14.3	28.6	42.9	21.4	50.0	—	—	7.1	—
20歳代	54	14.8	18.5	37.0	35.2	25.9	24.1	1.9	5.6	—
30歳代	77	19.5	14.3	37.7	48.1	32.5	18.2	1.3	2.6	1.3
40歳代	96	22.9	16.7	31.3	43.8	32.3	22.9	4.2	2.1	1.0
50歳代	116	21.6	18.1	33.6	38.8	27.6	29.3	—	6.0	—
60歳以上	298	23.8	12.4	35.6	42.3	26.2	31.5	1.0	3.0	2.7

5. 高齢者の人権について

問 15 高齢者の人権が尊重されていないと思うことは何ですか。(2つまで)

「まだ働けるのに、能力を発揮する機会が少ないこと」の割合が46.5%と最も高く、次いで「悪徳商法の被害が多いこと」の割合が27.6%、「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」の割合が19.8%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「悪徳商法の被害が多いこと」「高齢者に対する虐待が増えていること」の割合が高くなっています。また、男性で「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	まだ働けるのに、能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	病院での看護や養護施設での扱いが悪いこと	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	高齢者に対する虐待が増えていること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	その他	わからない	無回答
男性	304	46.7	20.4	13.2	22.7	13.5	20.1	1.3	12.2	2.0
女性	349	46.4	33.8	12.9	17.5	20.6	19.2	1.1	7.7	1.7

【年齢別】

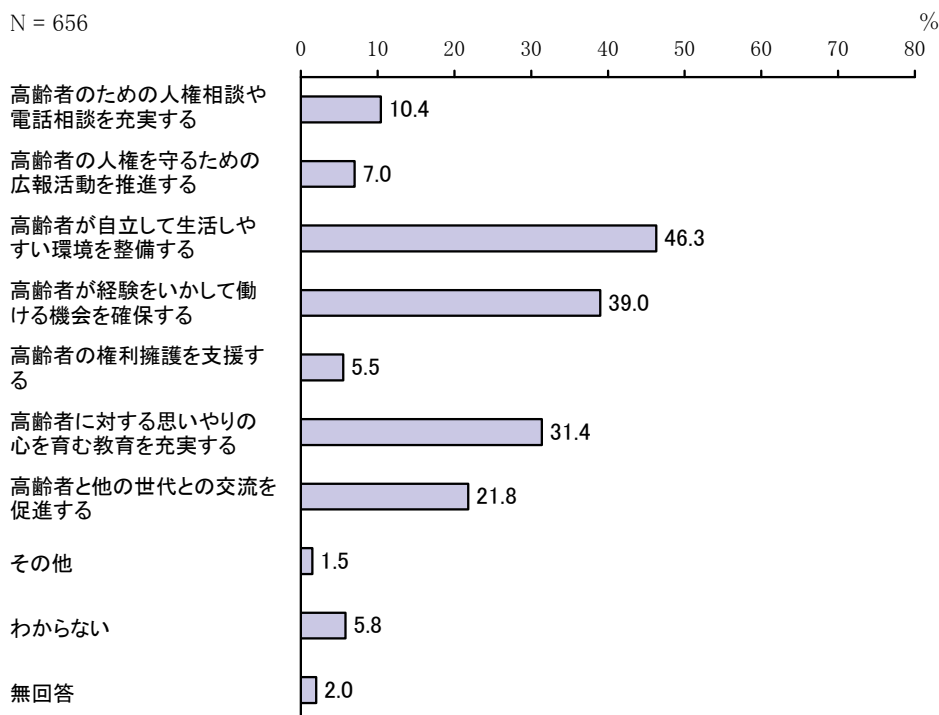
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「悪徳商法の被害が多いこと」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「高齢者の意見や行動を尊重しないこと」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	まだ働けるのに、能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	病院での看護や養護施設での扱いが悪いこと	高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする事	高齢者に対する虐待が増えていること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	その他	わからない	無回答
10歳代	14	35.7	21.4	14.3	28.6	21.4	7.1	7.1	14.3	—
20歳代	54	37.0	29.6	11.1	24.1	25.9	7.4	—	18.5	—
30歳代	77	46.8	36.4	16.9	19.5	13.0	11.7	1.3	10.4	—
40歳代	96	57.3	28.1	16.7	18.8	21.9	9.4	1.0	8.3	1.0
50歳代	116	46.6	30.2	14.7	23.3	14.7	13.8	0.9	11.2	0.9
60歳以上	298	45.3	23.8	10.7	17.8	16.4	29.9	1.3	7.7	3.4

問 16 高齢者の人権を守るために必要なことは、何だと思えますか。(2つまで)

「高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「高齢者が経験をいかして働ける機会を確保する」の割合が 39.0%、「高齢者に対する思いやりの心を育む教育を充実する」の割合が 31.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」「高齢者が経験をいかして働ける機会を確保する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	高齢者の人権相談や電話相談を充実する	高齢者の人権を守るための広報活動を推進する	高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が経験をいかして働ける機会を確保する	高齢者の権利擁護を支援する	高齢者に対する思いやりの心を育む教育を充実する	高齢者和其他の世代との交流を促進する	その他	わからない	無回答
男性	304	10.5	9.2	42.4	35.9	6.3	29.3	22.0	2.0	7.2	2.6
女性	349	10.3	5.2	49.9	41.8	4.9	33.5	21.2	1.1	4.6	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「高齢者が経験をいかして働ける機会を確保する」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「高齢者と他の世代との交流を促進する」の割合が高くなる傾向がみられます。

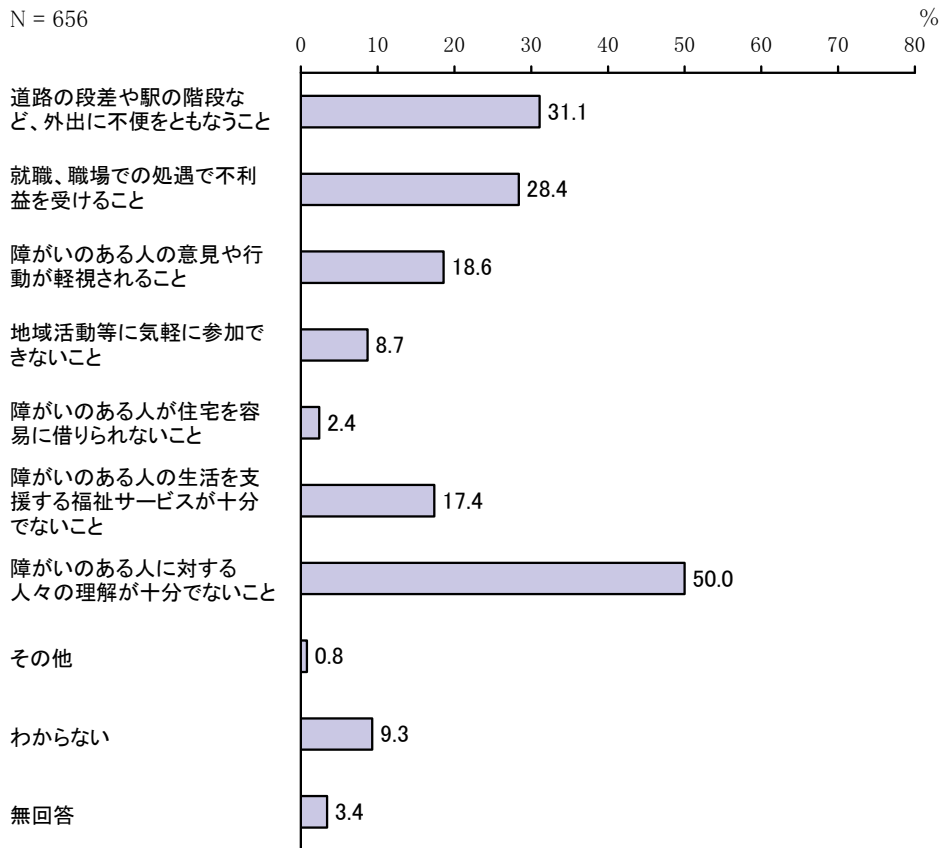
単位：%

区分	有効回答数(件)	高齢者のための人権相談や電話相談を充実する	高齢者の人権を守るための広報活動を推進する	高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する	高齢者が経験をいかして働く機会を確保する	高齢者の権利擁護を支援する	高齢者に対する思いやりの心を育む教育を充実する	高齢者与其他の世代との交流を促進する	その他	わからない	無回答
10歳代	14	7.1	—	42.9	21.4	14.3	14.3	42.9	—	14.3	—
20歳代	54	9.3	9.3	35.2	40.7	5.6	24.1	25.9	—	11.1	1.9
30歳代	77	7.8	3.9	46.8	51.9	5.2	32.5	27.3	1.3	2.6	—
40歳代	96	9.4	9.4	46.9	44.8	1.0	18.8	20.8	2.1	10.4	2.1
50歳代	116	11.2	6.0	43.1	40.5	8.6	29.3	19.8	1.7	6.0	—
60歳以上	298	11.4	7.4	49.7	33.9	5.4	38.3	19.8	1.7	3.7	3.0

6. 障がいのある人の人権について

問 17 障がいのある人の人権が尊重されていないと思うことは何ですか。(2つまで)

「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が50.0%と最も高く、次いで「道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまなうこと」の割合が31.1%、「就職、職場での処遇で不利益を受けること」の割合が28.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまなうこと」「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が高くなっています。また、男性で「障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまなうこと	就職、職場での処遇で不利益を受けること	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	地域活動等に気軽に参加できないこと	障がいのある人が住宅を容易に借りられないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	その他	わからない	無回答
男性	304	26.6	29.3	20.1	10.2	3.3	20.1	41.1	1.3	10.2	4.3
女性	349	35.2	27.8	17.5	7.4	1.7	14.6	57.9	0.3	8.6	2.3

【性別】

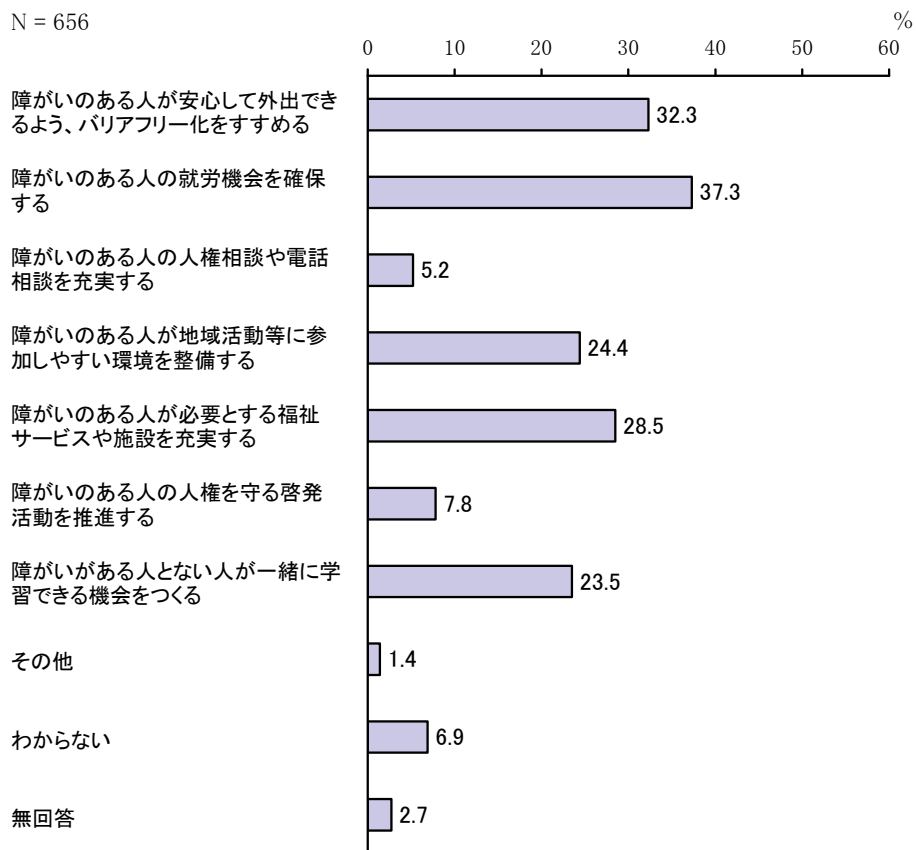
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまなうこと」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまなうこと	就職、職場での処遇で不利益を受けること	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	地域活動等に気軽に参加できないこと	障がいのある人が住宅を容易に借りられないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	その他	わからない	無回答
10歳代	14	7.1	21.4	14.3	14.3	—	28.6	64.3	—	14.3	—
20歳代	54	40.7	37.0	22.2	3.7	—	7.4	55.6	—	5.6	—
30歳代	77	31.2	36.4	20.8	5.2	6.5	14.3	54.5	—	6.5	1.3
40歳代	96	31.3	29.2	17.7	8.3	3.1	15.6	43.8	3.1	12.5	3.1
50歳代	116	26.7	26.7	22.4	9.5	3.4	13.8	50.0	—	12.1	1.7
60歳以上	298	32.2	25.5	16.4	10.1	1.3	21.5	49.3	0.7	8.4	5.0

問18 障がいのある人の人権を守るために必要なことは、何だと思えますか。(2つまで)

「障がいのある人の就労機会を確保する」の割合が37.3%と最も高く、次いで「障がいのある人が安心して外出できるよう、バリアフリー化をすすめる」の割合が32.3%、「障がいのある人が必要とする福祉サービスや施設を充実する」の割合が28.5%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「障がいがある人とない人が一緒に学習できる機会をつくる」の割合が高くなっています。また、男性で「障がいのある人の人権を守る啓発活動を推進する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	障がいのある人が安心して外出できるよう、バリアフリー化をすすめる	障がいのある人の就労機会を確保する	障がいのある人の人権相談や電話相談を充実する	障がいのある人が地域活動等に参加しやすい環境を整備する	障がいのある人が必要とする福祉サービスや施設を充実する	障がいのある人の人権を守る啓発活動を推進する	障がいがある人とない人が一緒に学習できる機会をつくる	その他	わからない	無回答
男性	304	31.9	35.9	4.9	25.3	27.0	10.9	19.4	1.6	6.9	3.6
女性	349	33.0	38.7	5.4	23.5	29.8	5.2	26.9	1.1	6.9	1.7

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代、20歳代で「障がいのある人が安心して外出できるよう、バリアフリー化をすすめる」の割合が、30歳代で「障がいのある人の就労機会を確保する」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「障がいのある人の人権を守る啓発活動を推進する」の割合が高くなる傾向がみられます。

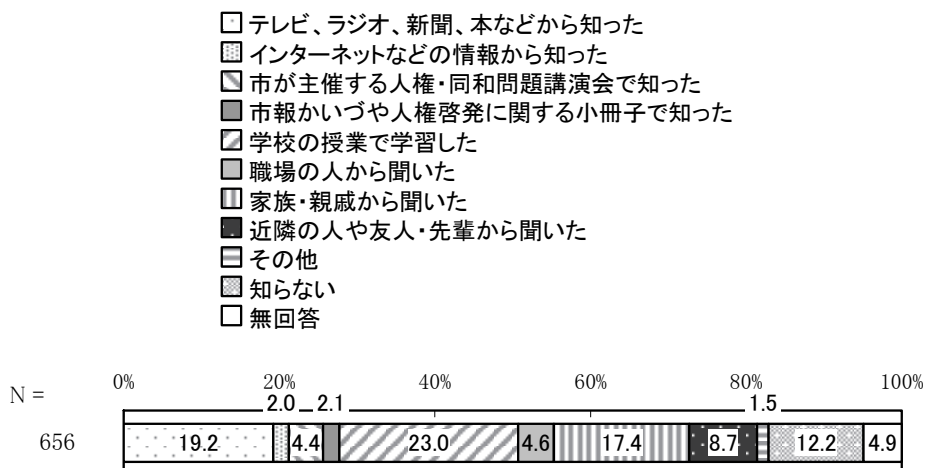
単位：％

区分	有効回答数(件)	障がいのある人が安心して外出できるよう、バリアフリー化をすすめる	障がいのある人の就労機会を確保する	障がいのある人の人権相談や電話相談を充実する	障がいのある人が地域活動等に参加しやすい環境を整備する	障がいのある人が必要とする福祉サービスや施設を充実する	障がいのある人の人権を守る啓発活動を推進する	障がいがある人とない人が一緒に学習できる機会をつくる	その他	わからない	無回答
10歳代	14	42.9	28.6	7.1	21.4	28.6	14.3	14.3	—	7.1	—
20歳代	54	40.7	38.9	3.7	11.1	29.6	9.3	31.5	1.9	7.4	—
30歳代	77	28.6	50.6	3.9	19.5	22.1	9.1	36.4	1.3	2.6	—
40歳代	96	28.1	34.4	5.2	27.1	27.1	5.2	29.2	4.2	6.3	2.1
50歳代	116	31.0	43.1	2.6	25.9	25.9	8.6	21.6	—	11.2	1.7
60歳以上	298	33.2	32.9	6.7	26.8	31.5	7.4	18.1	1.0	6.4	4.4

7. 同和問題について

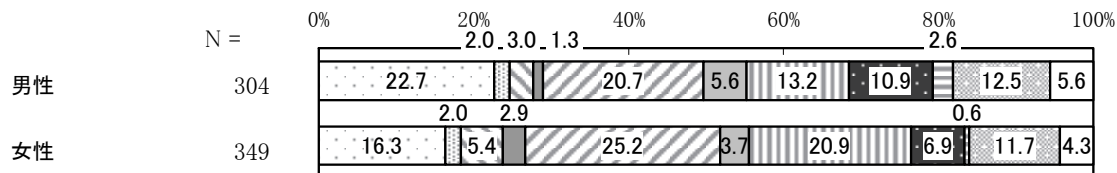
問 19 同和問題をはじめて知ったのは、どのようなことからですか。(1つだけ)

「学校の授業で学習した」の割合が 23.0%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本などから知った」の割合が 19.2%、「家族・親戚から聞いた」の割合が 17.4%となっています。



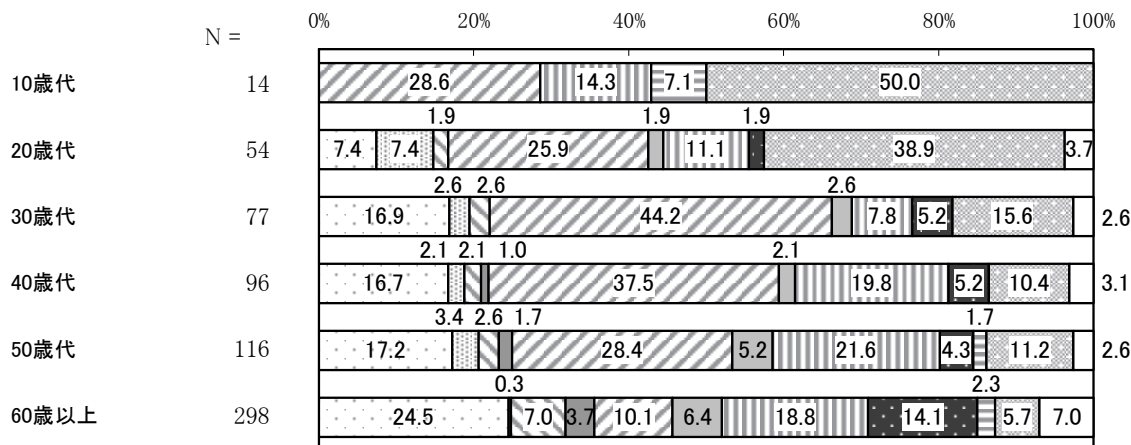
【性別】

性別でみると、女性で「家族・親戚から聞いた」の割合が高くなっています。また、男性で「テレビ、ラジオ、新聞、本などから知った」の割合が高くなっています。



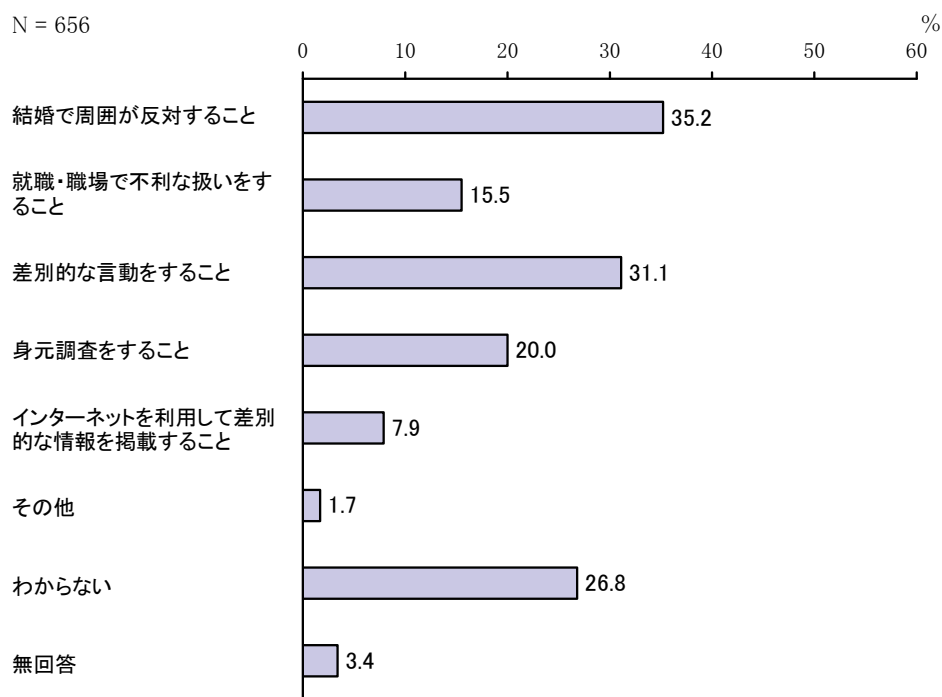
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「学校の授業で学習した」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「テレビ、ラジオ、新聞、本などから知った」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 20 同和問題に関して、人権が尊重されていないと思うことは何ですか。(2つまで)

「結婚で周囲が反対すること」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「差別的な言動をすること」の割合が 31.1%、「わからない」の割合が 26.8%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「結婚で周囲が反対すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	結婚で周囲が反対すること	就職・職場で不利な扱いをすること	差別的な言動をすること	身元調査をすること	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	その他	わからない	無回答
男性	304	32.6	17.8	29.6	18.1	8.6	2.0	28.3	3.9
女性	349	37.8	13.8	32.7	21.5	7.4	1.4	25.2	2.9

【年齢別】

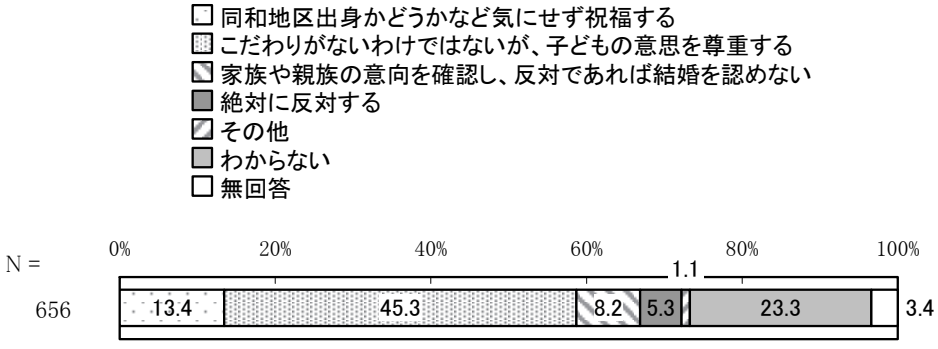
年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「結婚で周囲が反対すること」の割合が高くなっています。また、30歳代で「差別的な言動をすること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	結婚で周囲が反対すること	就職・職場で不利な扱いをすること	差別的な言動をすること	身元調査をすること	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	その他	わからない	無回答
10歳代	14	14.3	7.1	28.6	14.3	—	—	57.1	—
20歳代	54	29.6	11.1	22.2	18.5	11.1	3.7	42.6	—
30歳代	77	29.9	26.0	40.3	15.6	9.1	—	31.2	—
40歳代	96	30.2	13.5	26.0	26.0	10.4	1.0	30.2	2.1
50歳代	116	42.2	17.2	29.3	15.5	4.3	1.7	27.6	3.4
60歳以上	298	37.2	14.1	32.9	21.5	8.1	2.0	20.1	5.4

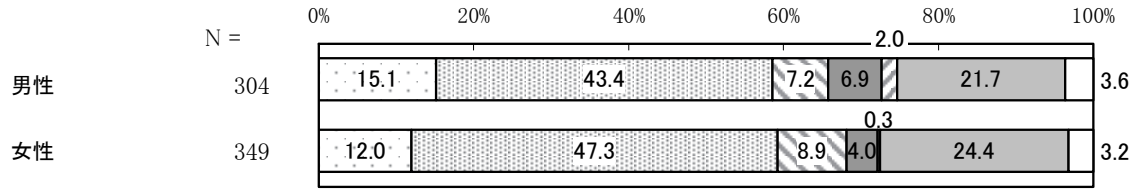
問 21 あなたが親の立場にあると仮定して、もし、お子さんが同和地区出身の人と結婚すると言ったら、どうしますか。(1つだけ)

「こだわりのないわけではないが、子どもの意思を尊重する」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.3%、「同和地区出身かどうかなど気にせず祝福する」の割合が 13.4%となっています。



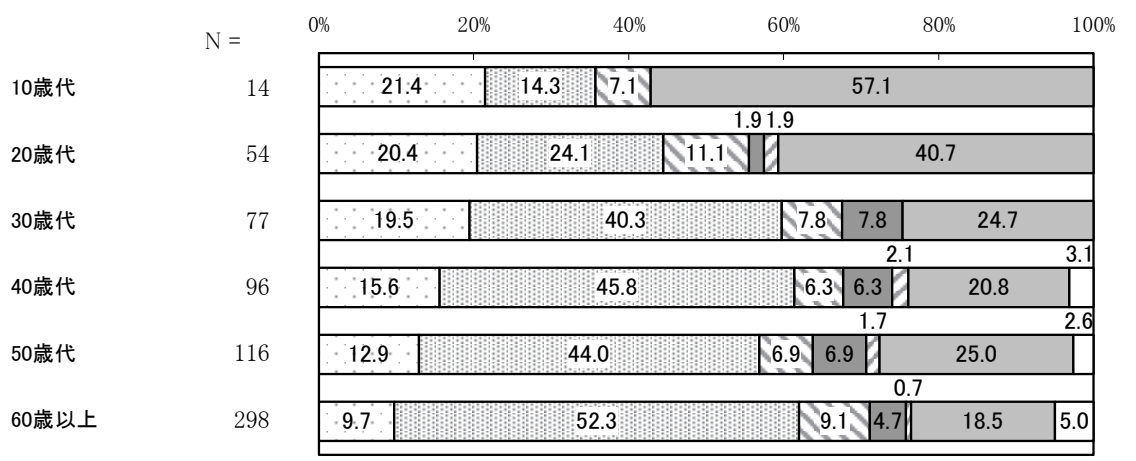
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



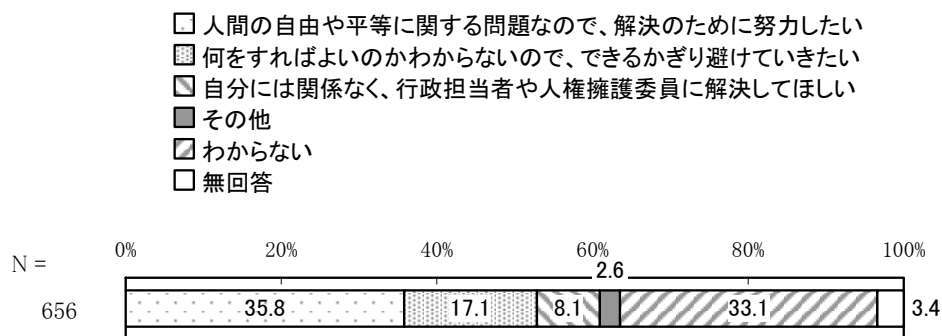
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、年齢が高くなるにつれ「こだわりのないわけではないが、子どもの意思を尊重する」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が低くなるにつれ「同和地区出身かどうかなど気にせず祝福する」の割合が高くなっています。



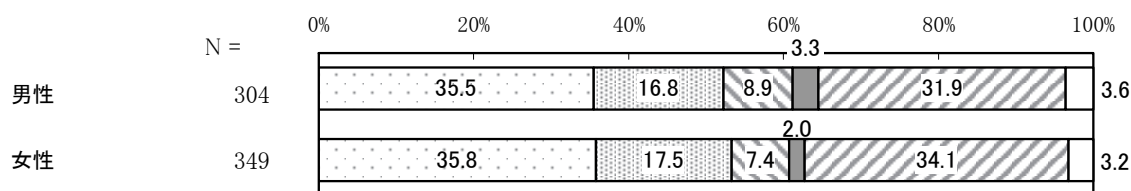
問 22 同和問題の解決に向けて、ご自身がのぞむ姿勢をうかがいます。(1つだけ)

「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 33.1%、「何をすればよいのかわからないので、できるかぎり避けていきたい」の割合が 17.1%となっています。



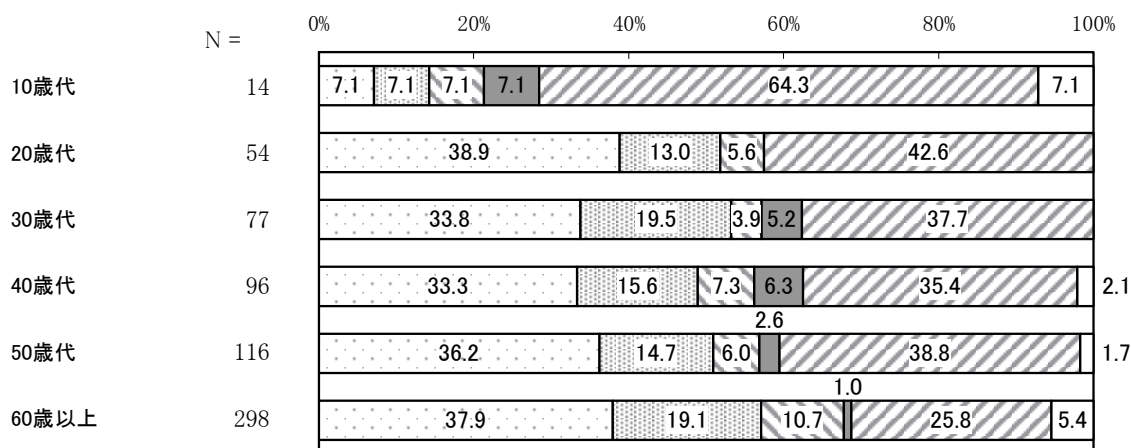
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



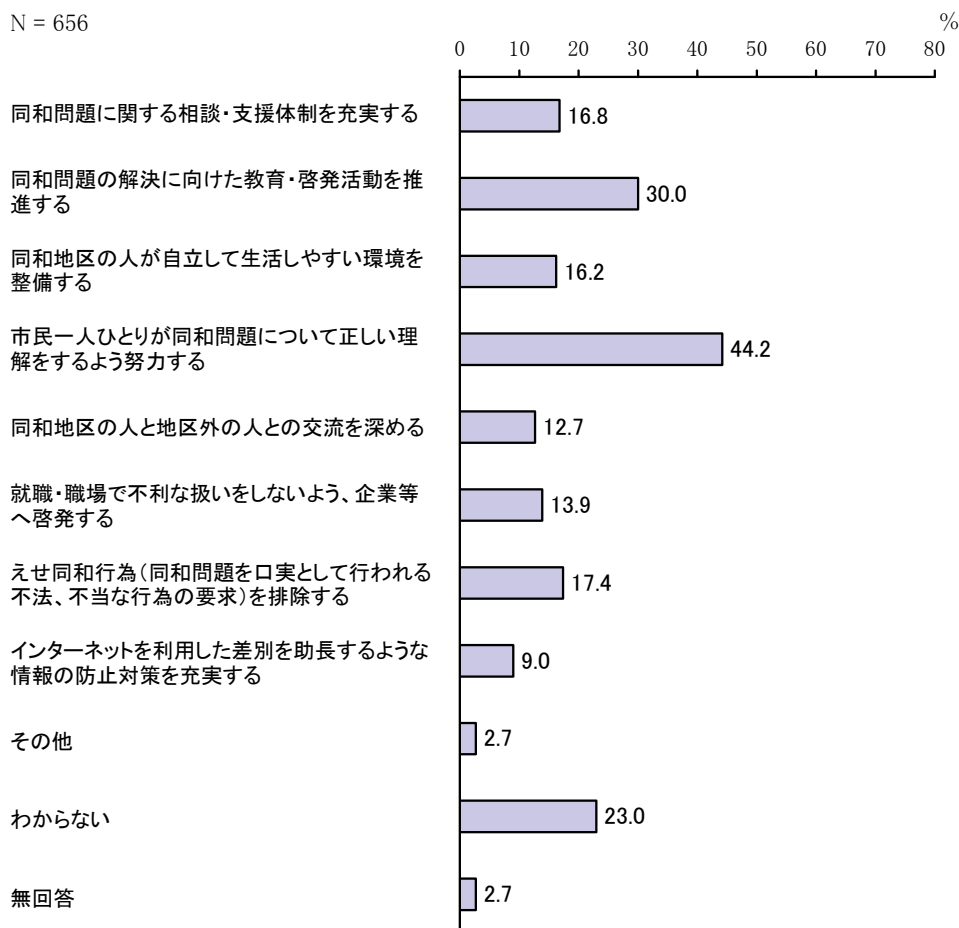
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代から60歳以上で「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」の割合が高くなっています。



問 23 同和問題の解決に向けて必要なことは、何だと思えますか。(3つまで)

「市民一人ひとりが同和問題について正しい理解をするよう努力する」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「同和問題の解決に向けた教育・啓発活動を推進する」の割合が 30.0%、「わからない」の割合が 23.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「同和問題の解決に向けた教育・啓発活動を推進する」「市民一人ひとりが同和問題について正しい理解をするよう努力する」の割合が高くなっています。また、男性で「同和地区の人が自立して生活しやすい環境を整備する」「えせ同和行為（同和問題を口実として行われる不法、不当な行為の要求）を排除する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	同和問題に関する相談・支援体制を充実する	同和問題の解決に向けた教育・啓発活動を推進する	同和地区の人が自立して生活しやすい環境を整備する	市民一人ひとりが同和問題について正しい理解をするよう努力する	同和地区の人と地区外の人との交流を深める	就職・職場で不利な扱いをしないよう、企業等へ啓発する	えせ同和行為（同和問題を口実として行われる不法、不当な行為の要求）を排除する	インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	その他	わからない	無回答
男性	304	18.1	26.6	19.1	39.1	14.1	11.8	22.4	10.5	4.3	22.7	3.3
女性	349	15.5	33.2	13.8	49.0	11.5	15.5	13.2	7.7	1.4	23.2	2.0

【年齢別】

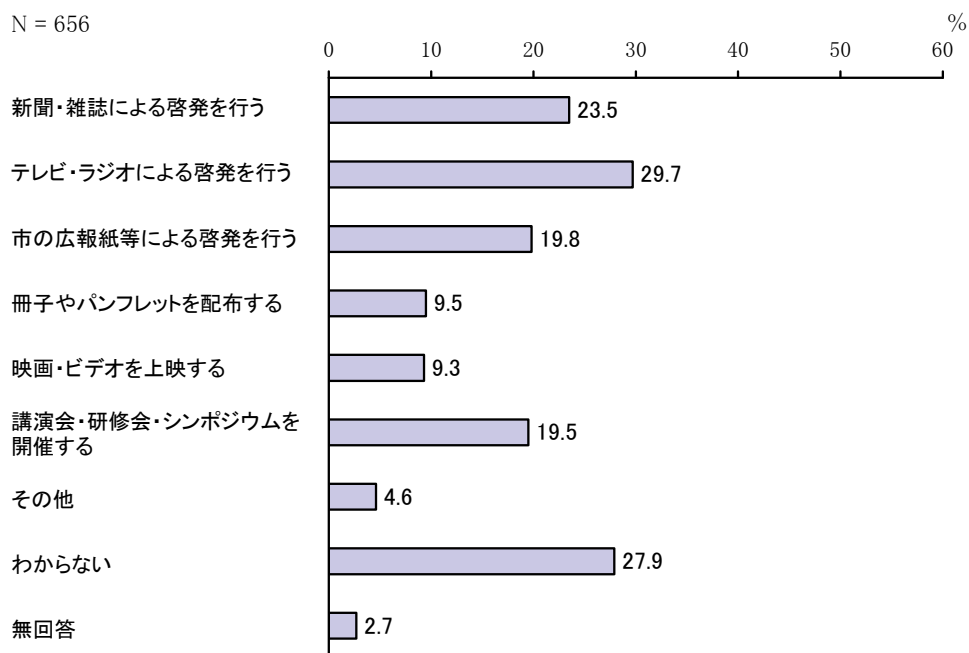
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「同和問題の解決に向けた教育・啓発活動を推進する」の割合が、40歳代で「同和地区の人が自立して生活しやすい環境を整備する」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「市民一人ひとりが同和問題について正しい理解をするよう努力する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	同和問題に関する相談・支援体制を充実する	同和問題の解決に向けた教育・啓発活動を推進する	同和地区の人が自立して生活しやすい環境を整備する	市民一人ひとりが同和問題について正しい理解をするよう努力する	同和地区の人と地区外の人との交流を深める	就職・職場で不利な扱いをしないよう、企業等へ啓発する	えせ同和行為（同和問題を口実として行われる不法、不当な行為の要求）を排除する	インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	その他	わからない	無回答
10歳代	14	—	21.4	—	28.6	14.3	7.1	35.7	7.1	—	42.9	—
20歳代	54	14.8	24.1	14.8	38.9	7.4	13.0	14.8	11.1	1.9	37.0	—
30歳代	77	18.2	37.7	14.3	39.0	19.5	11.7	20.8	5.2	2.6	20.8	—
40歳代	96	14.6	26.0	21.9	41.7	10.4	13.5	29.2	15.6	5.2	21.9	2.1
50歳代	116	12.9	27.6	15.5	44.0	12.1	21.6	14.7	7.8	2.6	25.0	2.6
60歳以上	298	19.8	31.9	15.8	48.0	12.8	12.1	13.1	8.1	2.3	19.8	4.4

**問 24 同和問題の解決に人々の関心を高める方法として、何が有効だと思いますか。
(2つまで)**

「テレビ・ラジオによる啓発を行う」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 27.9%、「新聞・雑誌による啓発を行う」の割合が 23.5%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	新聞・雑誌による啓発を行う	テレビ・ラジオによる啓発を行う	市の広報紙等による啓発を行う	冊子やパンフレットを配布する	映画・ビデオを上映する	講演会・研修会・シンポジウムを開催する	その他	わからない	無回答
男性	304	24.3	30.9	18.4	8.6	7.9	18.4	5.6	28.6	3.3
女性	349	22.9	28.7	21.2	10.3	10.6	20.3	3.7	27.2	2.3

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「新聞・雑誌による啓発を行う」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「講演会・研修会・シンポジウムを開催する」の割合が高くなる傾向がみられます。

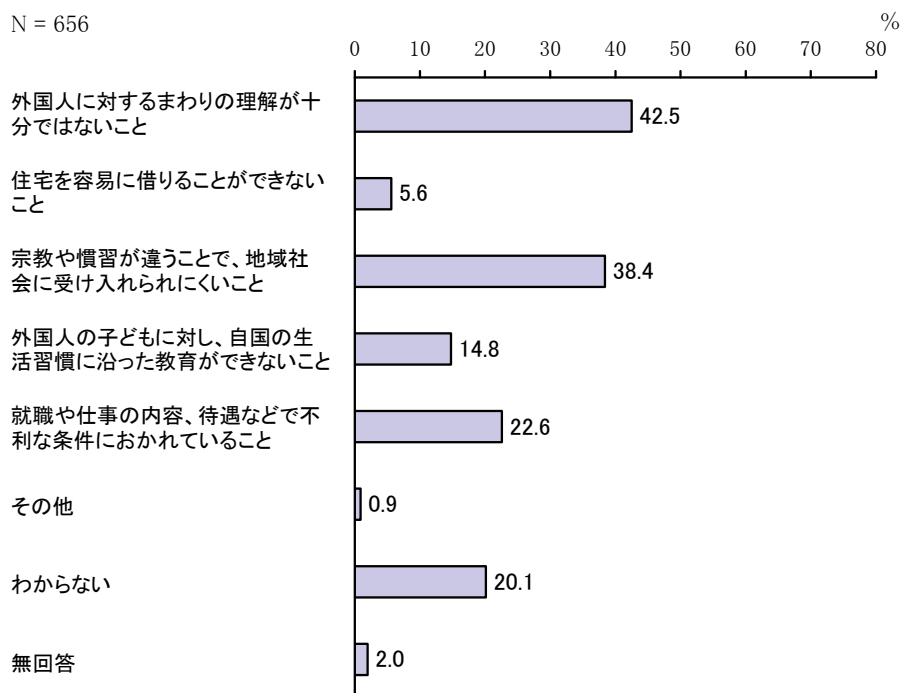
単位：%

区分	有効回答数(件)	新聞・雑誌による啓発を行う	テレビ・ラジオによる啓発を行う	市の広報紙等による啓発を行う	冊子やパンフレットを配布する	映画・ビデオを上映する	講演会・研修会・シンポジウムを開催する	その他	わからない	無回答
10歳代	14	21.4	14.3	14.3	—	—	14.3	14.3	50.0	—
20歳代	54	20.4	38.9	13.0	9.3	9.3	7.4	7.4	40.7	—
30歳代	77	26.0	31.2	14.3	10.4	11.7	14.3	5.2	26.0	1.3
40歳代	96	30.2	36.5	12.5	10.4	12.5	16.7	5.2	25.0	1.0
50歳代	116	19.8	25.9	20.7	8.6	8.6	17.2	6.9	32.8	1.7
60歳以上	298	22.8	27.9	24.8	9.7	8.4	25.2	2.3	24.2	4.4

8. 日本に居住する外国人の人権について

問 25 外国人の人権問題について、問題があると思うことは何ですか。（2つまで）

「外国人に対するまわりの理解が十分ではないこと」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」の割合が 38.4%、「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」の割合が 22.6%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	外国人に対するまわりの理解が十分ではないこと	住宅を容易に借りることができないこと	宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	外国人の子どもに対し、自国の生活習慣に沿った教育ができないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	その他	わからない	無回答
男性	304	43.1	6.6	39.8	16.4	19.7	1.3	18.8	2.6
女性	349	42.1	4.9	37.2	13.5	25.2	0.6	21.2	1.4

【年齢別】

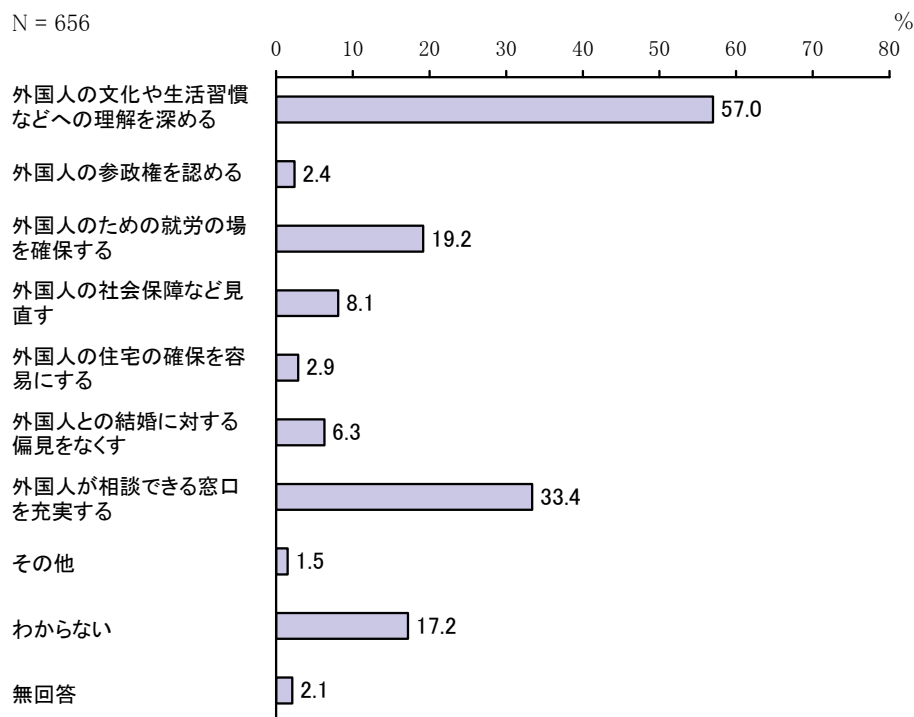
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと」の割合が高くなっています。また、10歳代、20歳代で「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	外国人に対するまわりの理解が十分ではないこと	住宅を容易に借りることができないこと	宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	外国人の子どもに対し、自国の生活習慣に沿った教育ができないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	その他	わからない	無回答
10歳代	14	35.7	7.1	28.6	—	35.7	—	28.6	—
20歳代	54	46.3	9.3	27.8	11.1	37.0	1.9	18.5	—
30歳代	77	42.9	7.8	45.5	23.4	24.7	—	11.7	—
40歳代	96	38.5	1.0	50.0	17.7	11.5	2.1	19.8	3.1
50歳代	116	37.1	6.9	37.1	13.8	19.0	1.7	26.7	0.9
60歳以上	298	45.3	5.4	35.9	13.4	23.5	0.3	19.8	3.0

問 26 外国人の人権を守るために必要なことは、何だと思えますか。(2つまで)

「外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「外国人が相談できる窓口を充実する」の割合が 33.4%、「外国人のための就労の場を確保する」の割合が 19.2%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	外国人の文化や生活習慣などへの理解を深める	外国人の参政権を認める	外国人のための就労の場を確保する	外国人の社会保障など見直す	外国人の住宅の確保を容易にする	外国人との結婚に対する偏見をなくす	外国人が相談できる窓口を充実する	その他	わからない	無回答
男性	304	56.9	3.3	19.4	8.2	3.0	5.3	32.6	2.6	17.4	2.0
女性	349	56.7	1.7	19.2	8.0	2.9	7.2	34.4	0.6	17.2	2.3

【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代、30歳代で「外国人との結婚に対する偏見をなくす」の割合が高くなっています。また、40歳代で「外国人が相談できる窓口を充実する」の割合が高くなっています。

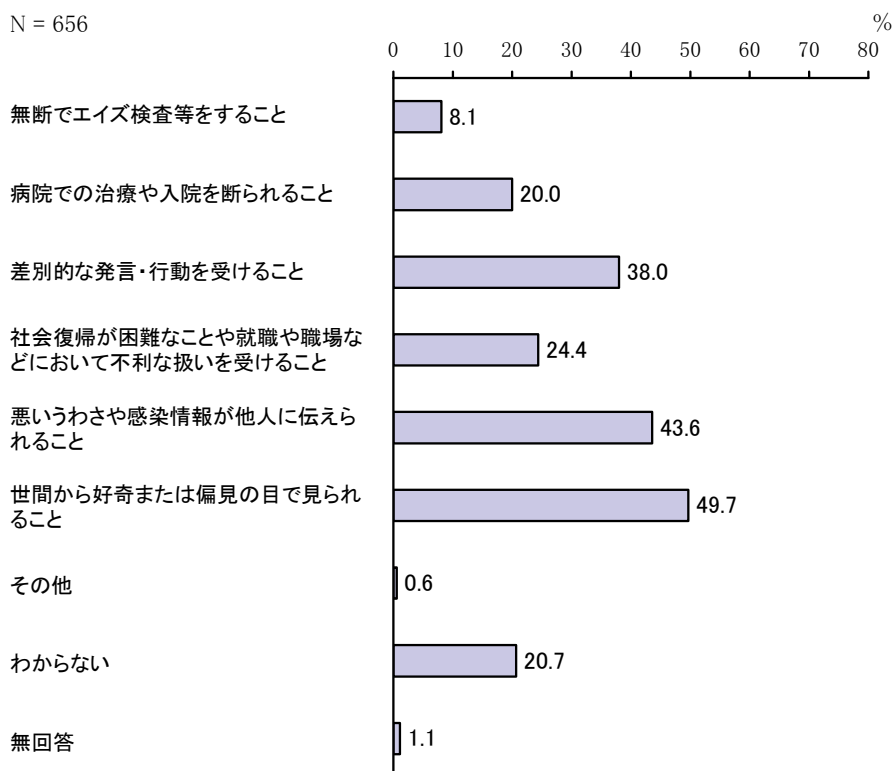
単位：%

区分	有効回答数 (件)	外国人の文化や生活 習慣などへの理解を 深める	外国人の参政権を認 める	外国人のための就労 の場を確保する	外国人の社会保 障など見直す	外国人の住宅の確保 を容易にする	外国人との結婚に対 する偏見をなくす	外国人が相談できる 窓口を充実する	その他	わからない	無回答
10歳代	14	42.9	—	28.6	7.1	—	14.3	28.6	—	21.4	7.1
20歳代	54	59.3	1.9	25.9	9.3	5.6	3.7	24.1	3.7	16.7	—
30歳代	77	62.3	5.2	22.1	6.5	3.9	11.7	27.3	2.6	15.6	—
40歳代	96	59.4	3.1	15.6	6.3	—	3.1	39.6	3.1	14.6	1.0
50歳代	116	50.9	1.7	16.4	8.6	2.6	3.4	31.9	0.9	25.0	—
60歳以上	298	57.7	2.0	19.1	8.4	3.4	7.0	35.2	0.7	15.4	4.0

9. HIV感染者・ハンセン病患者等の人権について

問 27 感染症患者（HIV感染者、ハンセン病患者等）の人権について、問題があると思うことは何ですか。（3つまで）

「世間から好奇または偏見の目で見られること」の割合が49.7%と最も高く、次いで「悪い噂や感染情報が他人に伝えられること」の割合が43.6%、「差別的な発言・行動を受けること」の割合が38.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「世間から好奇または偏見の目で見られること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	無断でエイズ検査等をする事	病院での治療や入院を断られる事	差別的な発言・行動を受ける事	社会復帰が困難なことや就職や職場などにおいて不利な扱いを受ける事	悪い噂や感染情報が他人に伝えられる事	世間から好奇または偏見の目で見られる事	その他	わからない	無回答
男性	304	8.6	18.4	39.1	23.7	41.4	45.7	0.7	23.4	1.6
女性	349	7.7	21.5	37.2	25.2	45.6	53.6	0.6	18.1	0.6

【年齢別】

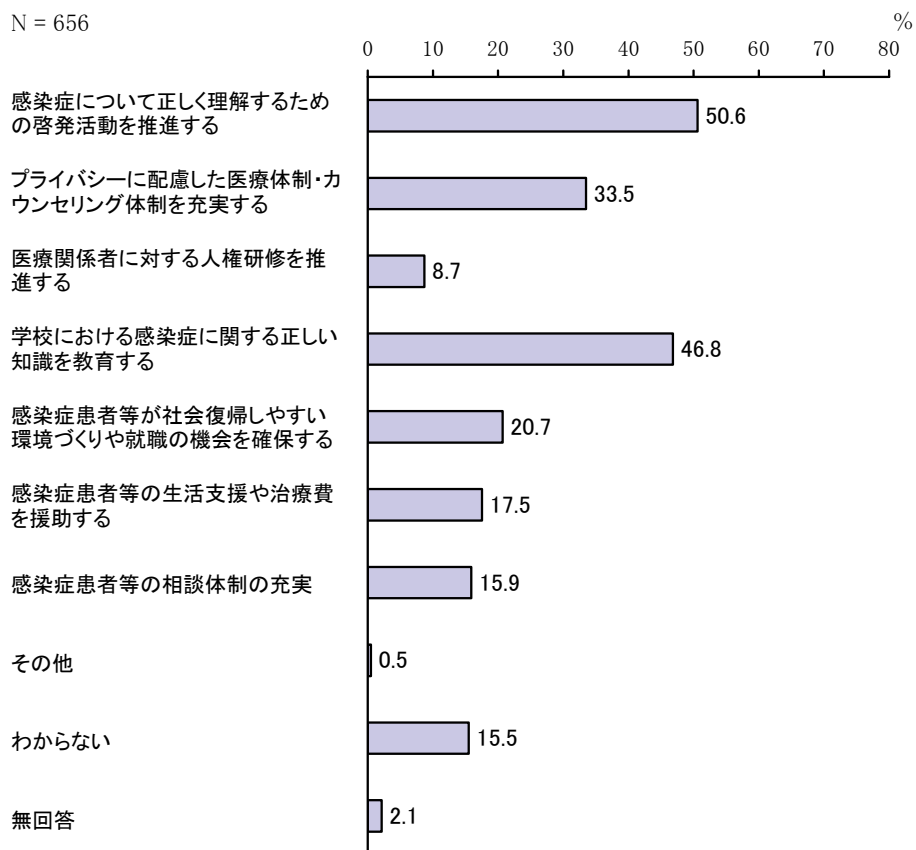
年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「病院での治療や入院を断られること」の割合が高くなっています。また、30歳代で「社会復帰が困難なことや就職や職場などにおいて不利な扱いを受けること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	無断でエイズ検査等をする こと	病院での治療や入院を断 られること	差別的な発言・行動を受 けること	社会復帰が困難なことや 就職や職場などにおいて 不利な扱いを受けること	悪いうわさや感染情報が 他人に伝えられること	世間から好奇または偏見 の目で見られること	その他	わからない	無回答
10歳代	14	—	21.4	7.1	21.4	42.9	42.9	—	35.7	—
20歳代	54	7.4	33.3	42.6	20.4	51.9	51.9	—	18.5	—
30歳代	77	7.8	11.7	42.9	31.2	53.2	66.2	1.3	11.7	—
40歳代	96	6.3	22.9	42.7	24.0	49.0	40.6	1.0	18.8	1.0
50歳代	116	8.6	13.8	38.8	21.6	44.0	46.6	0.9	26.7	—
60歳以上	298	9.1	21.1	35.6	24.8	37.9	49.7	0.3	20.8	2.0

問 28 感染症患者（H I V感染者、ハンセン病患者等）の人権を守るのに必要なことは、何だと思えますか。（3つまで）

「感染症について正しく理解するための啓発活動を推進する」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「学校における感染症に関する正しい知識を教育する」の割合が 46.8%、「プライバシーに配慮した医療体制・カウンセリング体制を充実する」の割合が 33.5%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「プライバシーに配慮した医療体制・カウンセリング体制を充実する」「学校における感染症に関する正しい知識を教育する」「感染症患者等が社会復帰しやすい環境づくりや就職の機会を確保する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	感染症に関する啓発活動を推進する	プライバシーに配慮した医療体制・カウンセリング体制を充実する	医療関係者に対する人権研修を推進する	学校における感染症に関する正しい知識を教育する	感染症患者等が社会復帰しやすい環境づくりや就職の機会を確保する	感染症患者等の生活支援や治療費を援助する	感染症患者等の相談体制の充実	その他	わからない	無回答
男性	304	50.7	30.3	10.5	42.8	17.8	19.4	16.4	0.7	18.4	2.3
女性	349	50.4	36.4	7.2	50.4	23.5	16.0	15.5	0.3	13.2	2.0

【年齢別】

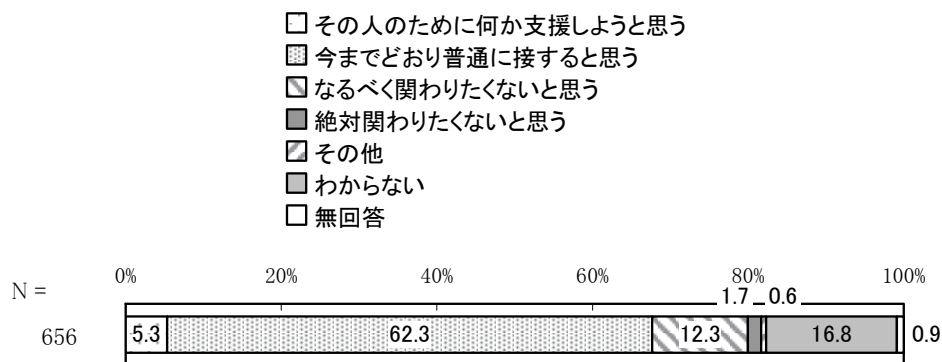
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「感染症について正しく理解するための啓発活動を推進する」の割合が高くなっています。また、10歳代で「感染症患者等の生活支援や治療費を援助する」「感染症患者等の相談体制の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	感染症に関する啓発活動を推進する	プライバシーに配慮した医療体制・カウンセリング体制を充実する	医療関係者に対する人権研修を推進する	学校における感染症に関する正しい知識を教育する	感染症患者等が社会復帰しやすい環境づくりや就職の機会を確保する	感染症患者等の生活支援や治療費を援助する	感染症患者等の相談体制の充実	その他	わからない	無回答
10歳代	14	21.4	28.6	—	42.9	14.3	35.7	28.6	—	28.6	—
20歳代	54	42.6	35.2	13.0	50.0	18.5	16.7	9.3	—	18.5	1.9
30歳代	77	57.1	36.4	11.7	55.8	29.9	18.2	11.7	—	7.8	—
40歳代	96	45.8	36.5	9.4	53.1	22.9	18.8	16.7	2.1	11.5	1.0
50歳代	116	51.7	34.5	9.5	37.1	20.7	12.9	16.4	—	19.0	—
60歳以上	298	53.0	31.5	7.0	46.0	18.5	18.1	17.1	0.3	16.4	3.7

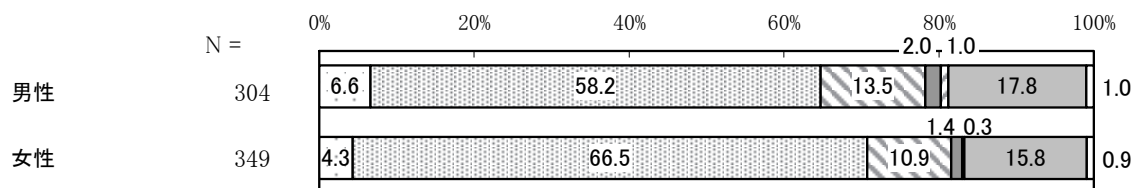
問 29 あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。(1つだけ)

「今までどおり普通に接すると思う」の割合が62.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が16.8%、「なるべく関わりたくないと思う」の割合が12.3%となっています。



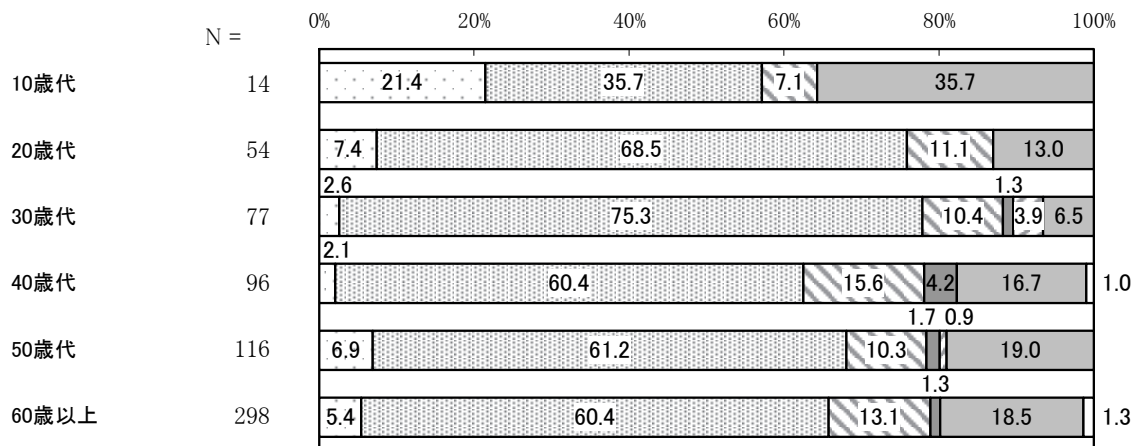
【性別】

性別でみると、女性で「今までどおり普通に接すると思う」の割合が高くなっています。



【年齢別】

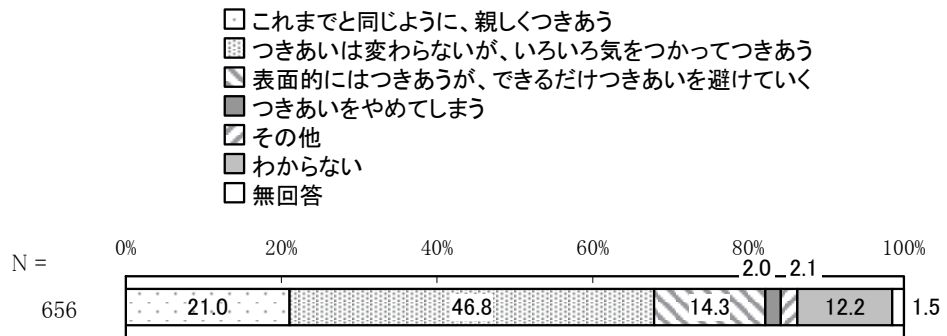
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「なるべく関わりたくないと思う」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「その人のために何か支援しようと思う」の割合が高くなる傾向がみられます。



10. 刑を終えて出所した人の人権について

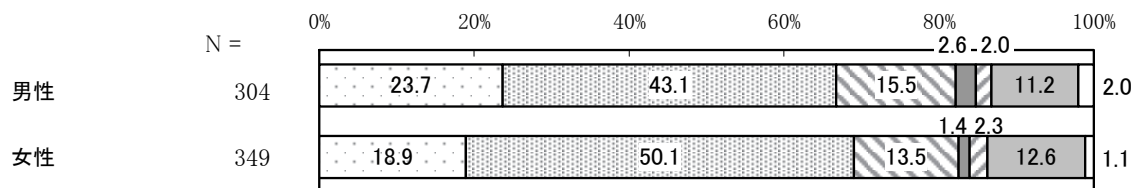
問 30 日頃から親しくつきあっていた人が、刑を終えて出所した人であるとわかったとき、どうしますか。(1つだけ)

「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合が46.8%と最も高く、次いで「これまでと同じように、親しくつきあう」の割合が21.0%、「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」の割合が14.3%となっています。



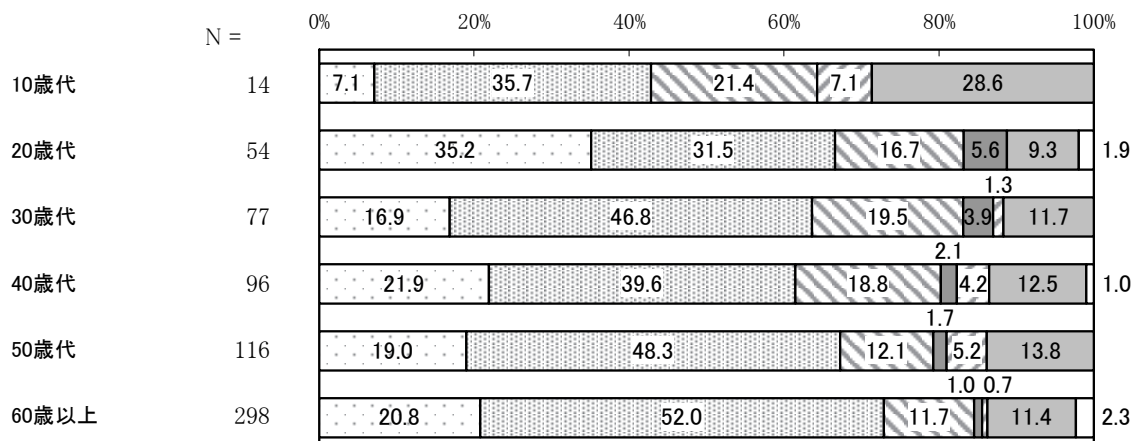
【性別】

性別でみると、女性で「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合が高くなっています。



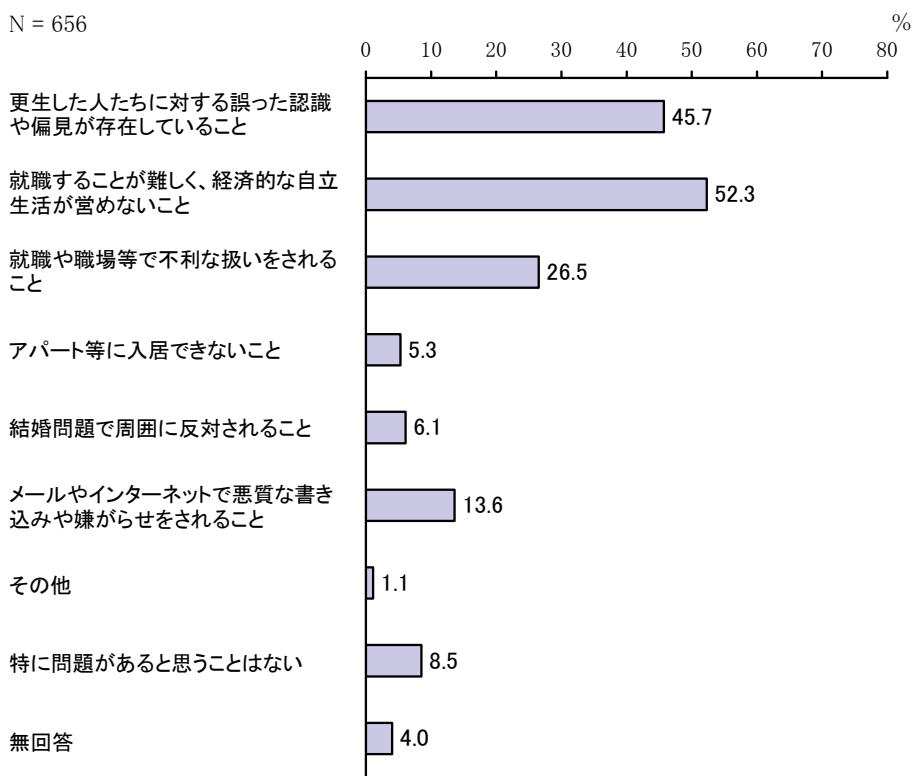
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「これまでと同じように、親しくつきあう」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「つきあいは変わらないが、いろいろ気をつけてつきあう」の割合が高なる傾向がみられます。



問 31 罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会復帰を図ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(2つまで)

「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」の割合が 45.7%、「就職や職場等で不利な扱いをされること」の割合が 26.5%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること	経済的な自立生活が営めないこと	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	就職や職場等で不利な扱いをされること	アパート等に入居できないこと	結婚問題で周囲に反対されること	メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	その他	特に問題があると思うことはない	無回答
男性	304	42.4	50.3	28.3	6.6	6.6	12.2	1.6	9.5	2.6	
女性	349	49.0	54.4	25.2	4.3	5.7	14.6	0.6	7.4	4.9	

【年齢別】

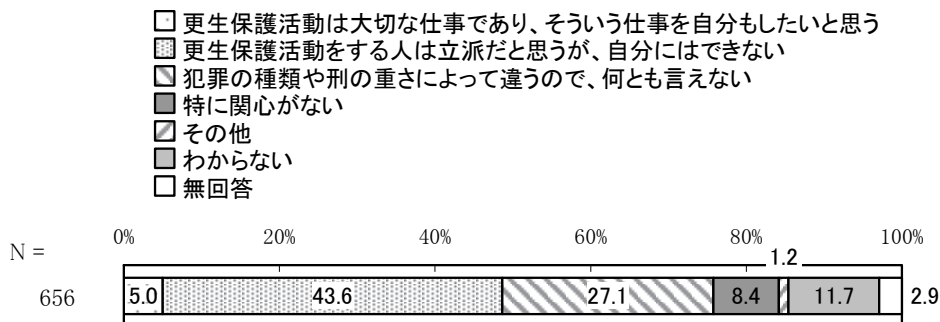
年齢別でみると、他に比べ、10歳代、30歳代で「結婚問題で周囲に反対されること」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	有効回答数(件)	更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めないこと	就職や職場等で不利な扱いをされること	アパート等に入居できないこと	結婚問題で周囲に反対されること	メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	その他	特に問題があると思うことはない	無回答
10歳代	14	28.6	50.0	7.1	7.1	14.3	21.4	—	14.3	—
20歳代	54	42.6	42.6	35.2	3.7	1.9	25.9	—	5.6	3.7
30歳代	77	39.0	53.2	27.3	11.7	14.3	10.4	1.3	13.0	—
40歳代	96	42.7	57.3	26.0	5.2	7.3	18.8	1.0	8.3	1.0
50歳代	116	45.7	52.6	23.3	3.4	2.6	13.8	3.4	9.5	4.3
60歳以上	298	50.0	52.3	27.2	4.7	5.4	10.1	0.3	7.4	5.7

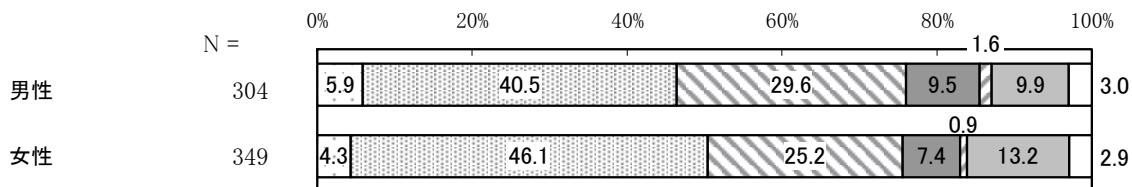
問 32 刑を終えて出所した人たちが会社に復帰するのを援助する「更生保護」活動をしている人たちがいます。もし、「更生保護」活動を試みませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。(あなたのお考えに1番近いものを1つだけ○)

「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合が43.6%と最も高く、次いで「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、何とも言えない」の割合が27.1%、「わからない」の割合が11.7%となっています。



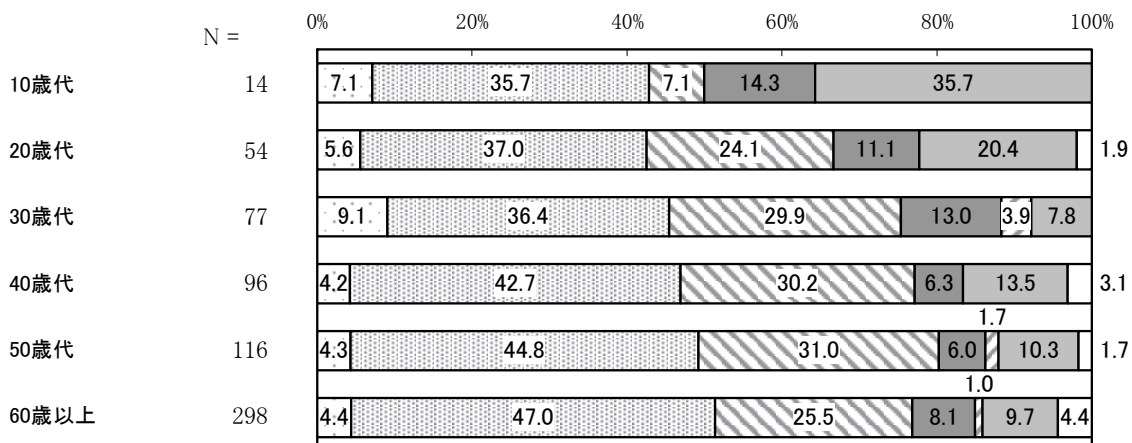
【性別】

性別でみると、女性で「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

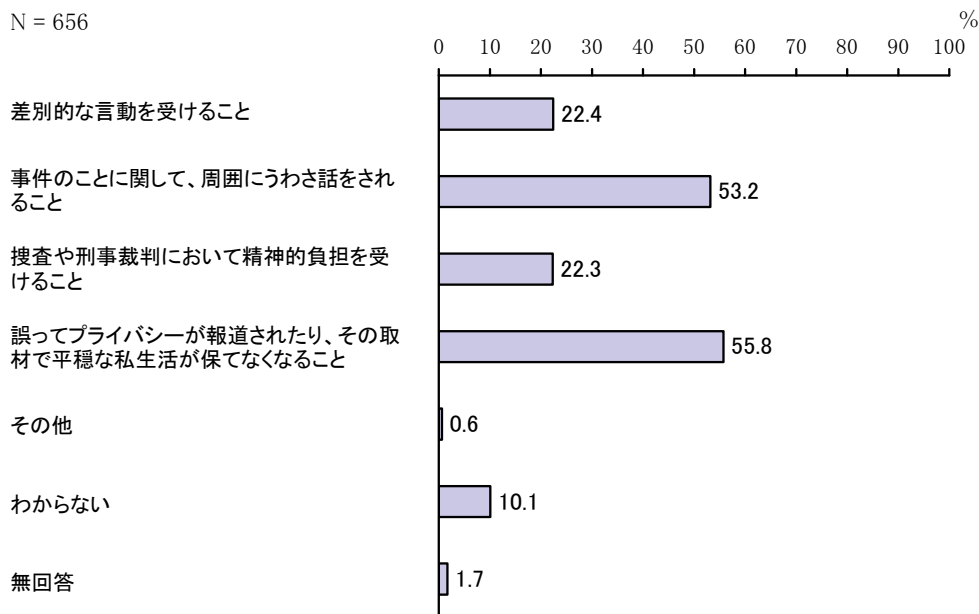
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「犯罪の種類や刑の重さによって違うので、何とも言えない」の割合が低くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「更生保護活動をする人は立派だと思うが、自分にはできない」の割合が高くなっています。



1 1. 犯罪被害者とその家族の人権について

問 33 犯罪被害者とその家族の人権問題について、問題があると思うのは何ですか。
(2つまで)

「誤ってプライバシーが報道されたり、その取材で平穏な私生活が保てなくなること」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」の割合が 53.2%、「差別的な言動を受けること」の割合が 22.4%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	差別的な言動を受けること	事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	誤ってプライバシーが報道されたり、その取材で平穏な私生活が保てなくなること	その他	わからない	無回答
男性	304	23.0	51.6	23.4	56.9	0.3	7.9	2.6
女性	349	22.1	54.7	21.5	54.7	0.9	11.7	0.9

【年齢別】

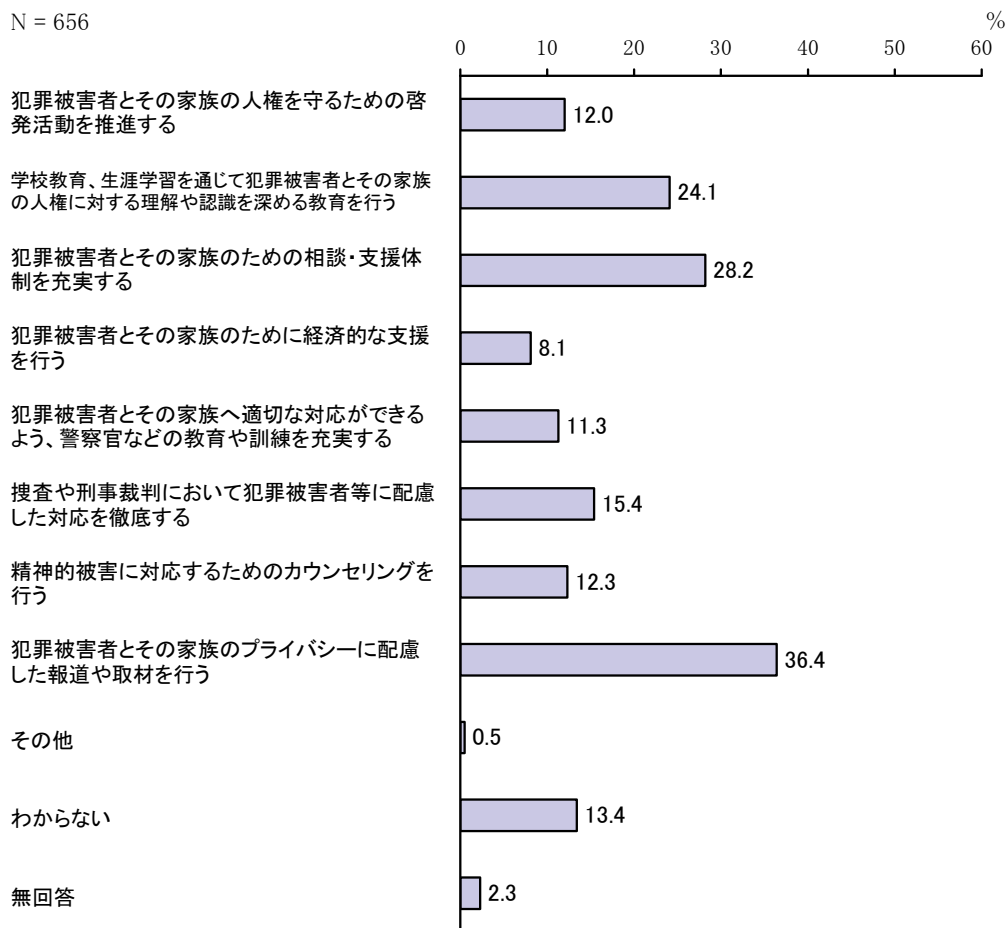
年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「差別的な言動を受けること」「捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること」の割合が低くなっています。また、20歳代、30歳代で「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	差別的な言動を受けること	事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	誤ってプライバシーが報道されたり、その取材で平穏な私生活が保てなくなる	その他	わからない	無回答
10歳代	14	7.1	42.9	7.1	50.0	—	35.7	—
20歳代	54	25.9	59.3	14.8	61.1	1.9	9.3	—
30歳代	77	29.9	58.4	29.9	62.3	2.6	2.6	—
40歳代	96	16.7	55.2	26.0	62.5	—	8.3	1.0
50歳代	116	17.2	53.4	24.1	61.2	0.9	8.6	0.9
60歳以上	298	24.2	50.7	20.5	49.0	—	12.1	3.0

問 34 犯罪被害者とその家族の人権を守るために必要なことは、何だと思えますか。
(2つまで)

「犯罪被害者とその家族のプライバシーに配慮した報道や取材を行う」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「犯罪被害者とその家族のための相談・支援体制を充実する」の割合が 28.2%、「学校教育、生涯学習を通じて犯罪被害者とその家族の人権に対する理解や認識を深める教育を行う」の割合が 24.1%となっています。



【性別】

性別でみると、男性で「犯罪被害者とその家族のために経済的な支援を行う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	犯罪被害者とその家族の人権を守るための啓発活動を推進する	学校教育、生涯学習を通じて犯罪被害者とその家族の人権に対する理解や認識を深める教育を行う	犯罪被害者とその家族のための相談・支援体制を充実する	犯罪被害者とその家族のために経済的な支援を行う	犯罪被害者とその家族へ適切な対応ができるよう、警察官などの教育や訓練を充実する	捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した対応を徹底する	精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う	犯罪被害者とその家族のプライバシーに配慮した報道や取材を行う	その他	わからない	無回答
男性	304	14.1	23.4	30.6	12.2	11.8	16.1	10.5	34.2	—	10.9	2.6
女性	349	10.3	24.9	26.4	4.6	10.9	14.9	13.8	38.7	0.9	15.8	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「犯罪被害者とその家族のプライバシーに配慮した報道や取材を行う」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「犯罪被害者とその家族の人権を守るための啓発活動を推進する」の割合が高くなる傾向がみられます。

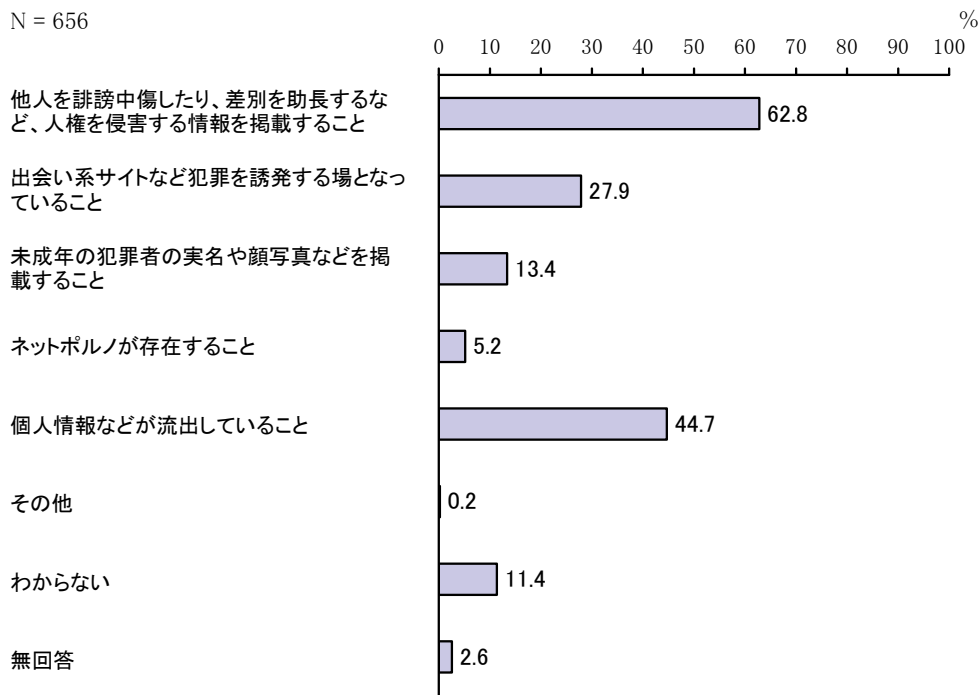
単位：％

区分	有効回答数（件）	犯罪被害者とその家族の人権を守るための啓発活動を推進する	学校教育、生涯学習を通じて犯罪被害者とその家族の人権に対する理解や認識を深める教育を行う	犯罪被害者とその家族のための相談・支援体制を充実する	犯罪被害者とその家族のために経済的な支援を行う	犯罪被害者とその家族へ適切な対応ができるよう、警察官などの教育や訓練を充実する	捜査や刑事裁判において犯罪被害者等に配慮した対応を徹底する	精神的被害に対応するためのカウンセリングを行う	犯罪被害者とその家族のプライバシーに配慮した報道や取材を行う	その他	わからない	無回答
10歳代	14	7.1	21.4	35.7	—	—	7.1	14.3	21.4	—	35.7	—
20歳代	54	9.3	29.6	18.5	7.4	5.6	13.0	14.8	40.7	—	20.4	—
30歳代	77	9.1	27.3	14.3	15.6	11.7	13.0	18.2	53.2	—	7.8	1.3
40歳代	96	12.5	17.7	33.3	12.5	15.6	15.6	12.5	38.5	2.1	8.3	1.0
50歳代	116	12.9	19.0	27.6	6.0	10.3	19.8	12.1	43.1	—	14.7	0.9
60歳以上	298	13.1	26.5	31.5	6.0	11.7	15.1	10.4	28.5	0.3	13.8	4.0

12. インターネットによる人権侵害について

問 35 インターネットによる人権侵害について、問題があると思うことは何ですか。
(2つまで)

「他人を誹謗中傷したり、差別を助長するなど、人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が62.8%と最も高く、次いで「個人情報などが流出していること」の割合が44.7%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」の割合が27.9%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	他人を誹謗中傷したり、差別を助長するなど、人権を侵害する情報を掲載すること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	未成年の犯罪者の実名や顔写真などを掲載すること	ネットポルノが存在すること	個人情報などが流出していること	その他	わからない	無回答
男性	304	64.5	27.0	14.5	3.6	45.4	0.3	10.5	2.6
女性	349	61.9	28.9	12.6	6.6	44.1	—	12.3	2.0

【年齢別】

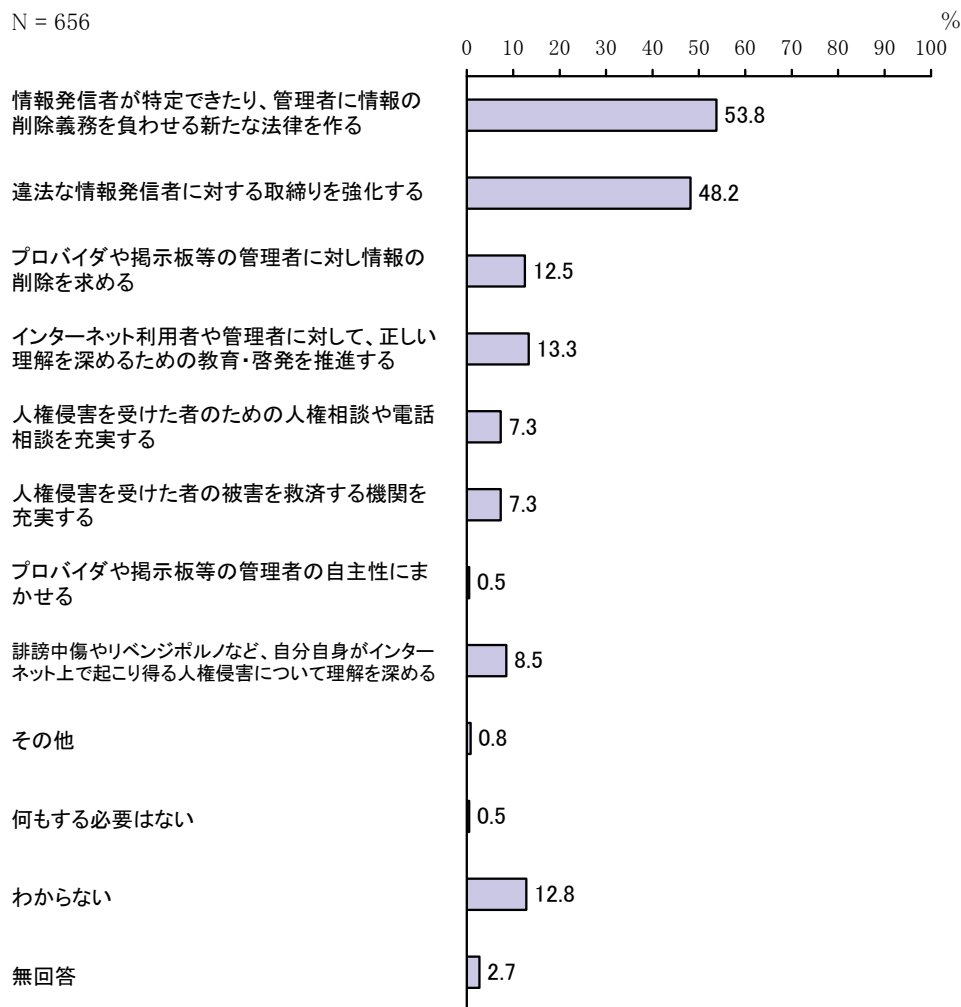
年齢別でみると、他に比べ、30歳代、50歳代で「他人を誹謗中傷したり、差別を助長するなど、人権を侵害する情報を掲載すること」の割合が高くなっています。また、20歳代で「個人情報などが流出していること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	他人を誹謗中傷したり、差別を助長するなど、人権を侵害する情報を掲載すること	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	未成年の犯罪者の実名や顔写真などを掲載すること	ネットポルノが存在すること	個人情報などが流出していること	その他	わからない	無回答
10歳代	14	57.1	35.7	14.3	7.1	42.9	—	14.3	—
20歳代	54	63.0	18.5	13.0	7.4	61.1	—	7.4	—
30歳代	77	71.4	28.6	11.7	6.5	58.4	—	2.6	—
40歳代	96	68.8	28.1	12.5	10.4	43.8	1.0	7.3	1.0
50歳代	116	73.3	19.0	11.2	3.4	47.4	—	13.8	0.9
60歳以上	298	55.0	32.6	15.1	3.4	37.6	—	14.8	4.7

問 36 インターネットによる人権侵害を防止または解決するために必要なことは、何だ
 と思いますか。(2つまで)

「情報発信者が特定できたり、管理者に情報の削除義務を負わせる新たな法律を作る」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「違法な情報発信者に対する取締りを強化する」の割合が 48.2%、「インターネット利用者や管理者に対して、正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」の割合が 13.3%となっています。



【性別】

性別でみると、男性で「情報発信者が特定できたり、管理者に情報の削除義務を負わせる新たな法律を作る」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	情報発信者が特定できたり、管理者に情報の削除義務を負わせる新たな法律を作る	違法な情報発信者に対する取締りを強化する	プロバイダや掲示板等の管理者に対し情報の削除を求める	インターネット利用者や管理者に対して、正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	インターネット利用者のための人権相談や電話相談を充実する	人権侵害を受けた者の被害を救済する機能を充実する
男性	304	58.6	49.7	12.5	12.2	7.6	9.9
女性	349	50.1	47.3	12.6	14.3	7.2	5.2

区分	プロバイダや掲示板等の管理者の自主性にまかせる	誹謗中傷やリベンジポルノなど、自身自身がインターネット上で起こり得る人権侵害について理解を深める	その他	何もする必要はない	わからない	無回答
男性	0.3	6.3	1.3	0.7	10.9	2.3
女性	0.6	10.6	0.3	0.3	14.3	2.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「情報発信者が特定できたり、管理者に情報の削除義務を負わせる新たな法律を作る」の割合が高くなっています。また、10歳代で「人権侵害を受けた者のための人権相談や電話相談を充実する」「人権侵害を受けた者の被害を救済する機関を充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

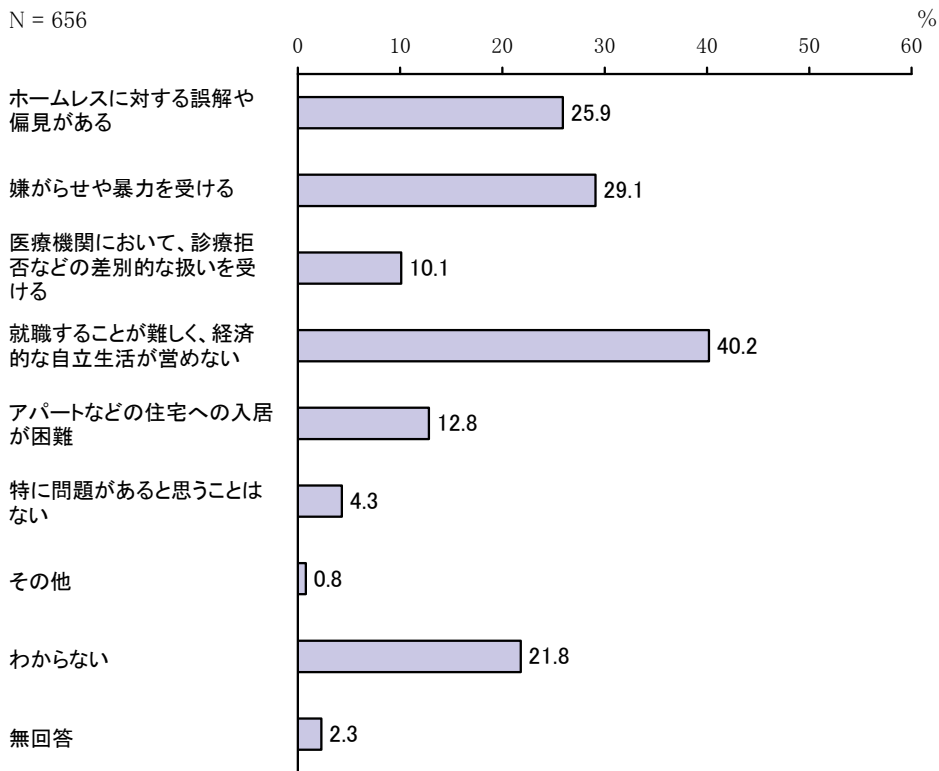
区分	有効回答数（件）	情報発信者が特定できたり、管理者に情報の削除義務を負わせる新たな法律を作る	違法な情報発信者に対する取締りを強化する	プロバイダや掲示板等の管理者に対し情報の削除を求める	インターネット利用者や管理者に対して、正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	人権侵害を受けた者のための人権相談や電話相談を充実する	人権侵害を受けた者の被害を救済する機関を充実する
10歳代	14	28.6	35.7	14.3	21.4	14.3	21.4
20歳代	54	42.6	53.7	7.4	13.0	7.4	7.4
30歳代	77	62.3	44.2	16.9	19.5	3.9	9.1
40歳代	96	55.2	50.0	10.4	12.5	8.3	7.3
50歳代	116	51.7	50.9	15.5	11.2	6.0	6.0
60歳以上	298	55.0	47.0	11.7	12.4	8.1	6.7

区分	プロバイダや掲示板等の管理者の自主性にまかせる	誹謗中傷やリベンジポルノなど、自分自身がインターネット上で起こり得る人権侵害について理解を深める	その他	何もする必要はない	わからない	無回答
10歳代	—	14.3	—	—	21.4	—
20歳代	1.9	14.8	1.9	—	11.1	—
30歳代	—	14.3	1.3	—	7.8	—
40歳代	1.0	13.5	1.0	1.0	10.4	1.0
50歳代	—	8.6	0.9	0.9	15.5	—
60歳以上	0.3	4.0	0.3	0.3	13.8	5.7

13. ホームレスの人権について

問 37 ホームレスの人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。(2つまで)

「就職することが難しく、経済的な自立生活が営めない」の割合が40.2%と最も高く、次いで「嫌がらせや暴力を受ける」の割合が29.1%、「ホームレスに対する誤解や偏見がある」の割合が25.9%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ホームレスに対する誤解や偏見がある	嫌がらせや暴力を受ける	医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受ける	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めない	アパートなどの住宅への入居が困難	特に問題があると思うことはない	その他	わからない	無回答
男性	304	26.6	28.0	8.6	39.8	13.5	6.3	1.3	20.1	2.6
女性	349	25.2	30.4	11.5	41.0	12.3	2.6	0.3	23.2	1.7

【年齢別】

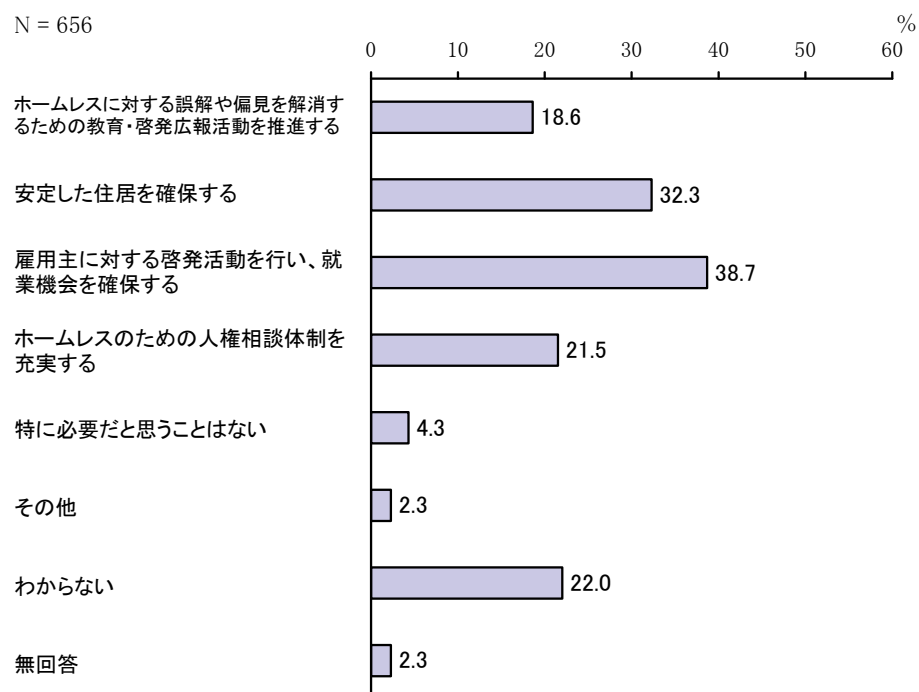
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「嫌がらせや暴力を受ける」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ホームレスに対する誤解や偏見がある	嫌がらせや暴力を受ける	医療機関において、診療拒否などの差別的な扱いを受ける	就職することが難しく、経済的な自立生活が営めない	アパートなどの住宅への入居が困難	特に問題があると思うことはない	その他	わからない	無回答
10歳代	14	28.6	21.4	14.3	42.9	7.1	—	—	35.7	—
20歳代	54	29.6	29.6	11.1	46.3	13.0	—	—	14.8	1.9
30歳代	77	27.3	33.8	16.9	45.5	7.8	5.2	—	19.5	—
40歳代	96	26.0	37.5	11.5	39.6	13.5	7.3	1.0	15.6	1.0
50歳代	116	21.6	24.1	12.1	37.9	15.5	2.6	—	31.0	0.9
60歳以上	298	26.5	27.5	6.7	38.6	13.1	4.7	1.3	21.5	4.0

問 38 ホームレスへの人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

「雇用主に対する啓発活動を行い、就業機会を確保する」の割合が38.7%と最も高く、次いで「安定した住居を確保する」の割合が32.3%、「わからない」の割合が22.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「雇用主に対する啓発活動を行い、就業機会を確保する」の割合が高くなっています。また、男性で「ホームレスに対する誤解や偏見を解消するための教育・啓発広報活動を推進する」「ホームレスのための人権相談体制を充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	ホームレスに対する誤解や偏見を解消するための教育・啓発広報活動を推進する	安定した住居を確保する	雇用主に対する啓発活動を行い、就業機会を確保する	ホームレスのための人権相談体制を充実する	特に必要だと思うことはない	その他	わからない	無回答
男性	304	21.4	31.6	35.9	25.0	5.6	3.0	19.1	3.3
女性	349	16.3	33.0	41.3	18.6	3.2	1.7	24.4	1.4

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代、20歳代で「ホームレスに対する誤解や偏見を解消するための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が高くなっています。

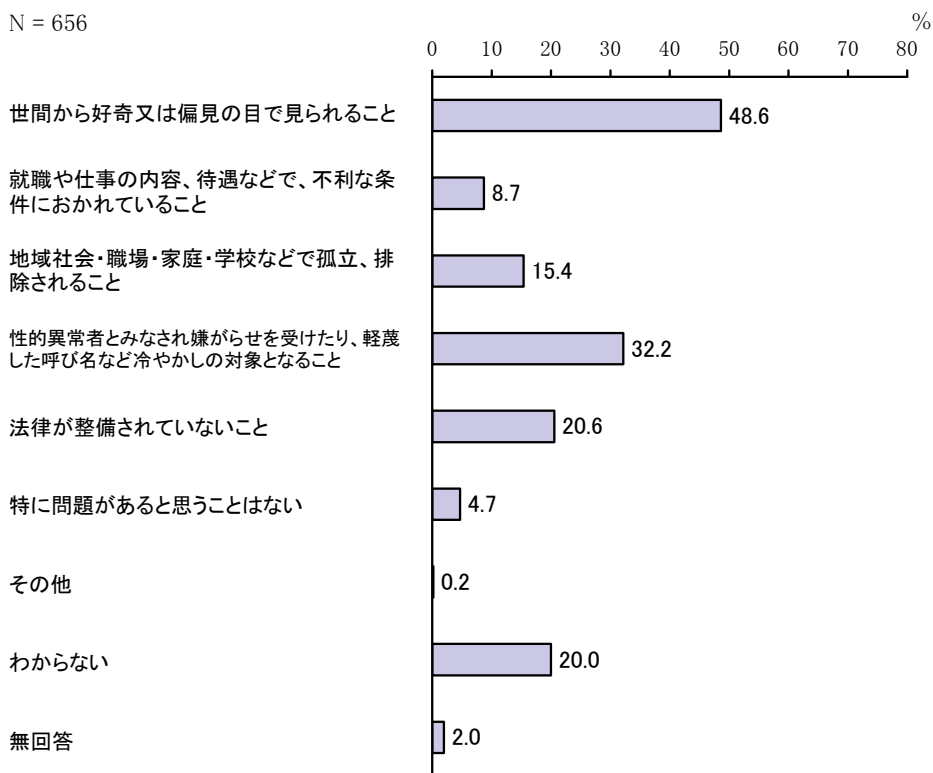
単位：%

区分	有効回答数(件)	ホームレスに対する誤解や偏見を解消するための教育・啓発広報活動を推進する	安定した住居を確保する	雇用主に対する啓発活動を行い、就業機会を確保する	ホームレスのための人権相談体制を充実する	特に必要だと思ふことはない	その他	わからない	無回答
10歳代	14	28.6	7.1	28.6	28.6	—	7.1	28.6	—
20歳代	54	29.6	37.0	46.3	11.1	—	3.7	18.5	—
30歳代	77	20.8	35.1	45.5	11.7	7.8	1.3	23.4	—
40歳代	96	11.5	32.3	45.8	22.9	8.3	3.1	16.7	1.0
50歳代	116	15.5	31.0	37.9	19.0	2.6	3.4	28.4	0.9
60歳以上	298	19.1	32.6	34.2	25.8	3.7	1.3	21.1	4.4

14. 性的指向の異なる人（同性愛、両性愛など）の人権について

問 39 性的指向の異なる人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（2つまで）

「世間から好奇又は偏見の目で見られること」の割合が48.6%と最も高く、次いで「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること」の割合が32.2%、「法律が整備されていないこと」の割合が20.6%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	世間から好奇又は偏見の目で見られること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること	法律が整備されていないこと	特に問題があると思うことはない	その他	わからない	無回答
男性	304	49.7	8.6	13.5	32.2	22.0	4.9	—	19.1	2.0
女性	349	48.1	8.9	17.2	32.4	19.5	4.6	0.3	20.3	1.7

【年齢別】

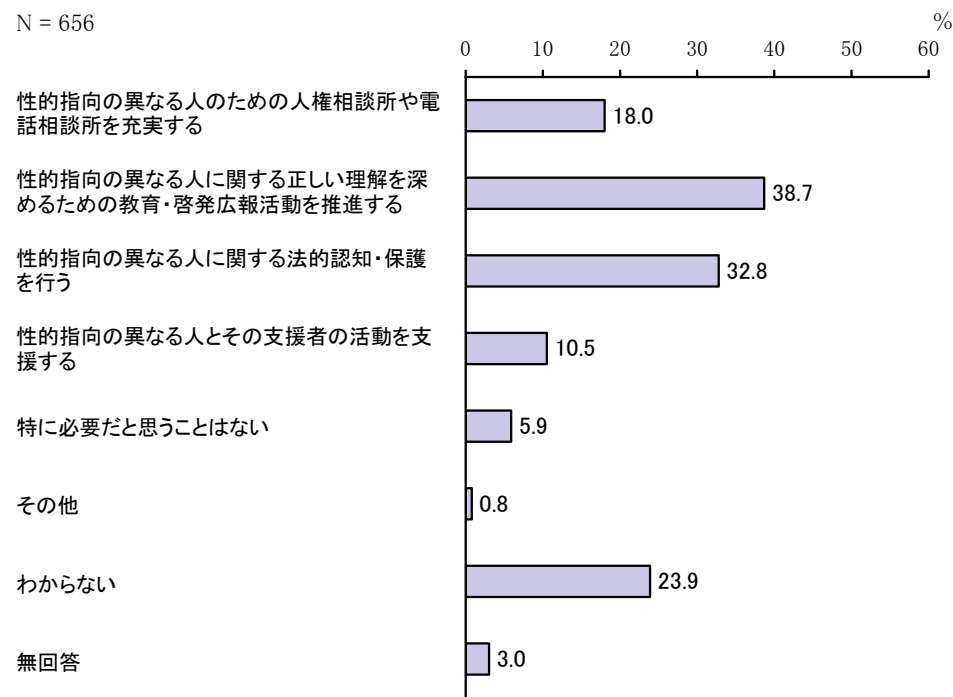
年齢別でみると、他に比べ、20歳代、30歳代で「世間から好奇又は偏見の目で見られること」「性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	世間から好奇又は偏見の目で見られること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的異常者とみなされ嫌がらせを受けたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること	法律が整備されていないこと	特に問題があると思うことはない	その他	わからない	無回答
10歳代	14	42.9	—	21.4	14.3	21.4	—	—	35.7	—
20歳代	54	53.7	11.1	24.1	42.6	18.5	1.9	—	13.0	—
30歳代	77	54.5	11.7	22.1	44.2	35.1	1.3	—	3.9	—
40歳代	96	46.9	8.3	21.9	38.5	19.8	4.2	—	16.7	1.0
50歳代	116	47.4	5.2	13.8	25.9	21.6	6.0	—	28.4	—
60歳以上	298	47.7	9.4	10.1	28.5	16.8	6.0	0.3	22.5	4.0

問 40 性的指向の異なる人への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」の割合が 32.8%、「わからない」の割合が 23.9%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	性的指向の異なる人への人権相談所や電話相談所を充実する	性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う	性的指向の異なる人とその支援者の活動を支援する	特に必要だと思うことはない	その他	わからない	無回答
男性	304	18.4	39.5	32.9	13.2	6.3	1.0	22.0	2.6
女性	349	17.8	38.4	32.7	8.3	5.7	0.6	25.5	3.2

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う」の割合が高くなる傾向がみられます。

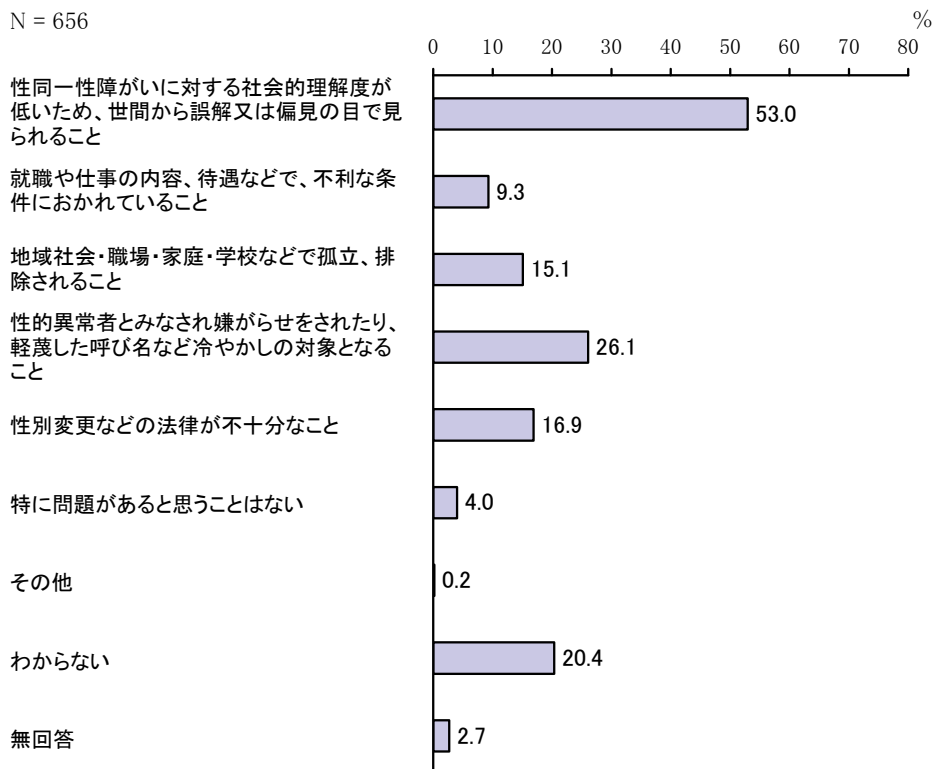
単位：%

区分	有効回答数(件)	性的指向の異なる人に関する権利相談所や電話相談所を充実する	性的指向の異なる人に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	性的指向の異なる人に関する法的認知・保護を行う	性的指向の異なる人とその支援者の活動を支援する	特に必要だと思ふことはない	その他	わからない	無回答
10歳代	14	21.4	14.3	50.0	7.1	7.1	—	35.7	—
20歳代	54	9.3	46.3	44.4	16.7	1.9	—	24.1	—
30歳代	77	9.1	55.8	45.5	24.7	2.6	—	9.1	—
40歳代	96	15.6	44.8	41.7	5.2	8.3	1.0	19.8	1.0
50歳代	116	19.0	29.3	29.3	8.6	5.2	—	31.9	1.7
60歳以上	298	21.8	35.9	25.2	8.4	7.0	1.3	25.5	5.7

15. 性同一性障がい者（「からだの性」と「こころの性」が一致していない状態）の人権について

問 41 性同一性障がい者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。（2つまで）

「性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」の割合が53.0%と最も高く、次いで「性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること」の割合が26.1%、「わからない」の割合が20.4%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：％

区分	有効回答数(件)	性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること	性別変更などの法律が不十分なこと	特に問題があると思うことはない	その他	わからない	無回答
男性	304	52.6	8.6	15.1	27.3	17.1	3.6	0.3	20.1	2.6
女性	349	53.9	10.0	15.2	25.2	16.9	4.0	—	20.6	2.6

【年齢別】

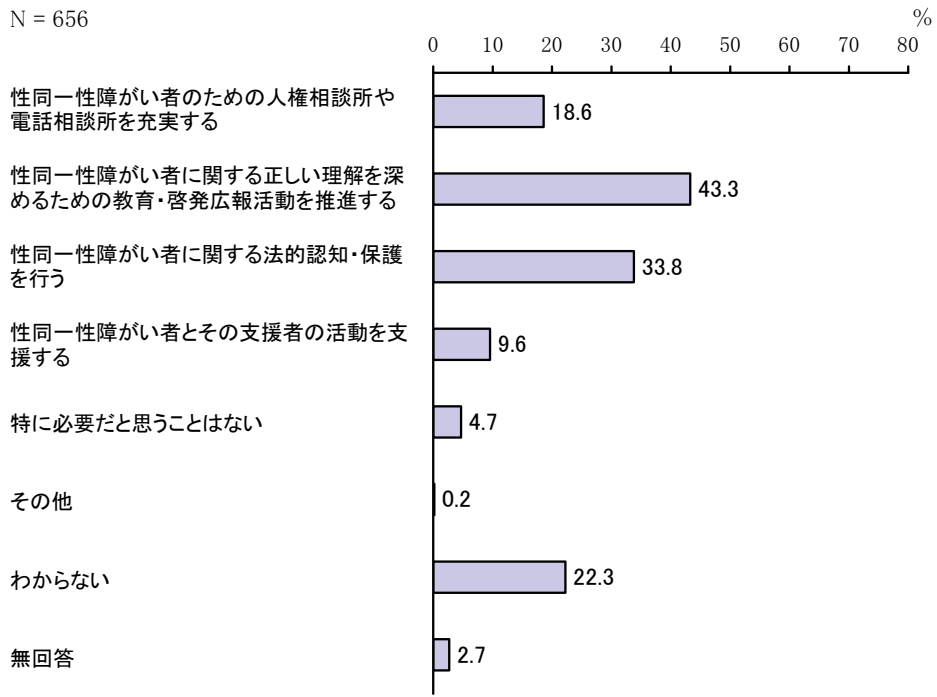
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること」の割合が高くなっています。また、20歳代で「地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	性同一性障がいに対する社会的理解度が低いため、世間から誤解又は偏見の目で見られること	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	地域社会・職場・家庭・学校などで孤立、排除されること	性的異常者とみなされ嫌がらせをされたり、軽蔑した呼び名など冷やかしの対象となること	性別変更などの法律が不十分なこと	特に問題があると思うことはない	その他	わからない	無回答
10歳代	14	57.1	7.1	14.3	7.1	14.3	—	—	35.7	—
20歳代	54	55.6	13.0	31.5	31.5	13.0	—	—	16.7	1.9
30歳代	77	63.6	13.0	22.1	33.8	22.1	1.3	1.3	5.2	—
40歳代	96	58.3	11.5	21.9	30.2	18.8	1.0	—	14.6	1.0
50歳代	116	48.3	6.0	11.2	23.3	21.6	5.2	—	24.1	1.7
60歳以上	298	50.0	8.4	9.4	23.8	14.1	6.0	—	24.8	4.7

問 42 性同一性障がい者への人権問題を解決するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

「性同一性障がい者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「性同一性障がい者に関する法的認知・保護を行う」の割合が 33.8%、「わからない」の割合が 22.3%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	性同一性障がい者のための人権相談所や電話相談所を充実する	性同一性障がい者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	性同一性障がい者に関する法的認知・保護を行う	性同一性障がい者とその支援者の活動を支援する	特に必要だと思うことはない	その他	わからない	無回答
男性	304	19.4	42.1	36.2	9.2	4.6	0.3	21.7	2.3
女性	349	18.1	44.4	32.1	10.0	4.9	—	22.6	2.9

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代で「性同一性障がい者のための人権相談所や電話相談所を充実する」の割合が高くなっています。また、30歳代で「性同一性障がい者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する」の割合が高くなっています。

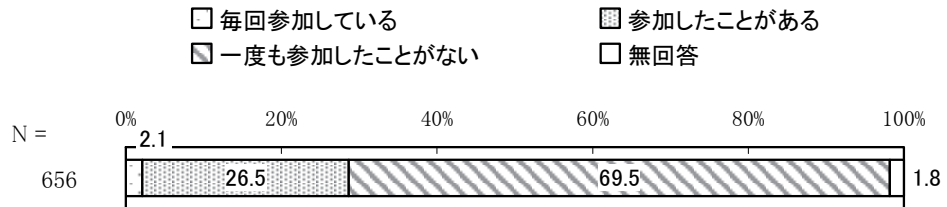
単位：％

区分	有効回答数(件)	性同一性障がい者のための人権相談所や電話相談所を充実する	性同一性障がい者に関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	性同一性障がい者に関する法的認知・保護を行う	性同一性障がい者とその支援者の活動を支援する	特に必要だと思うことはない	その他	わからない	無回答
10歳代	14	28.6	21.4	42.9	7.1	7.1	—	35.7	—
20歳代	54	16.7	48.1	40.7	16.7	3.7	—	20.4	—
30歳代	77	10.4	59.7	45.5	22.1	1.3	—	9.1	—
40歳代	96	14.6	54.2	39.6	8.3	3.1	1.0	16.7	1.0
50歳代	116	21.6	38.8	32.8	6.0	5.2	—	24.1	2.6
60歳以上	298	20.5	37.6	27.9	7.0	6.0	—	26.5	4.7

16. 今後の人権教育啓発について

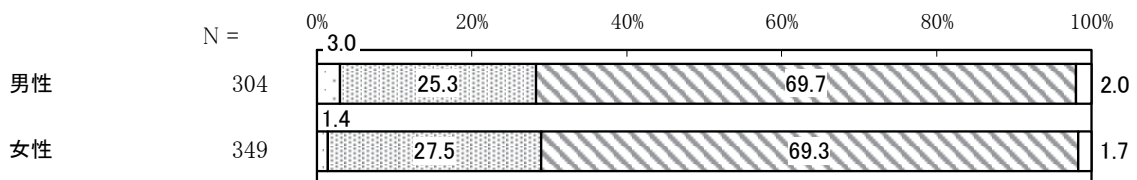
問 43 これまでに、人権問題に関する講演・研修に参加したことがありますか。
(1つだけ)

「一度も参加したことがない」の割合が69.5%と最も高く、次いで「参加したことがある」の割合が26.5%となっています。



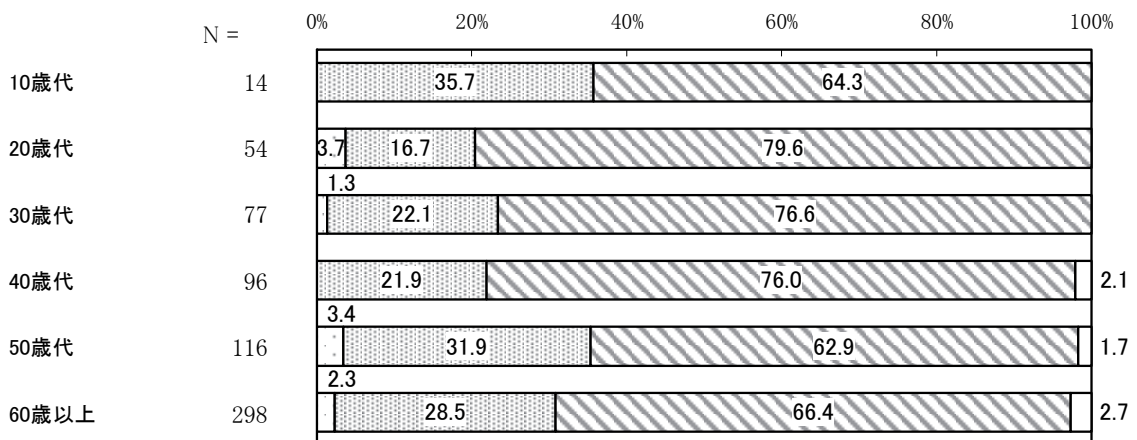
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



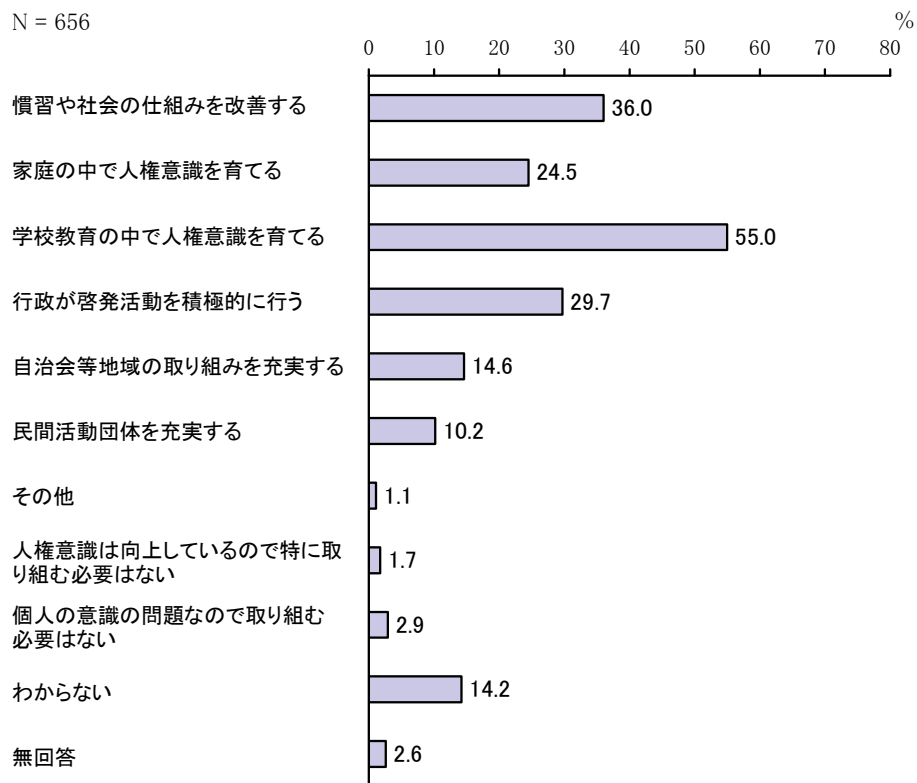
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、10歳代、50歳代で「参加したことがある」の割合が高くなっています。また、20歳代、30歳代、40歳代で「一度も参加したことがない」の割合が高くなっています。



問 44 現在、海津市では人権相談や人権・同和問題講演会を実施していますが、人権問題に理解を深め、人権意識を高めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで)

「学校教育の中で人権意識を育てる」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「慣習や社会の仕組みを改善する」の割合が 36.0%、「行政が啓発活動を積極的に行う」の割合が 29.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「家庭の中で人権意識を育てる」の割合が高くなっています。また、男性で「慣習や社会の仕組みを改善する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	慣習や社会の仕組みを改善する	家庭の中で人権意識を育てる	学校教育の中で人権意識を育てる	行政が啓発活動を積極的に行う	自治会等地域の取り組みを充実する	民間活動団体を充実する	その他	人権意識は向上しているので特に取り組む必要はない	個人の意識の問題なので取り組む必要はない	わからない	無回答
男性	304	39.1	21.4	55.3	31.9	14.5	11.5	2.3	1.3	3.3	13.5	2.0
女性	349	33.2	27.5	55.3	28.1	14.6	9.2	—	2.0	2.6	14.6	2.9

【年齢別】

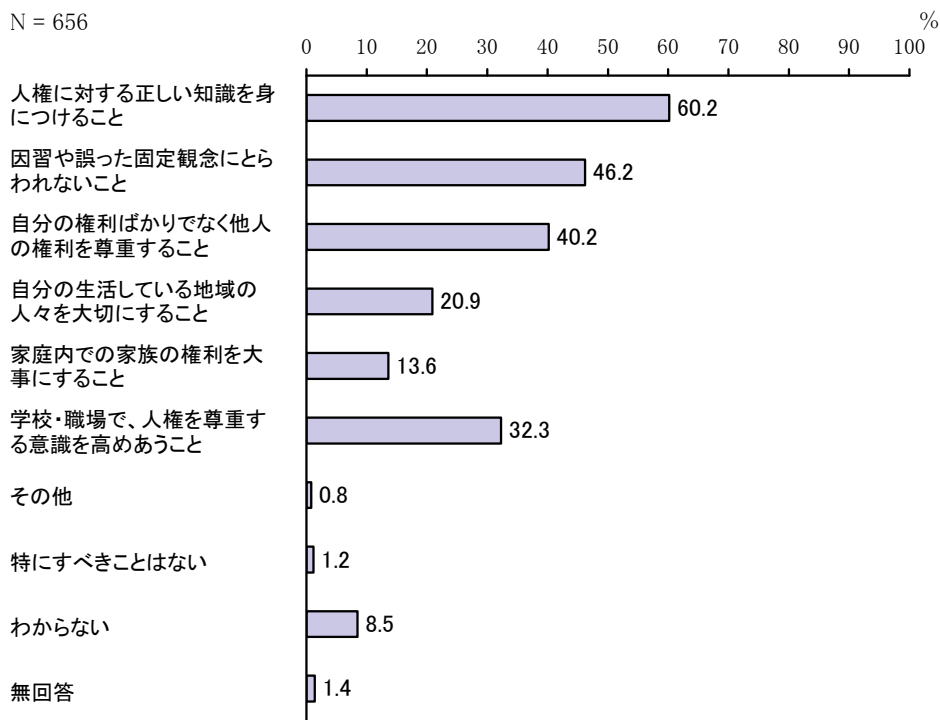
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「家庭の中で人権意識を育てる」の割合が高くなっています。また、10歳代で「民間活動団体を充実する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	慣習や社会の仕組みを改善する	家庭の中で人権意識を育てる	学校教育の中で人権意識を育てる	行政が啓発活動を積極的に行う	自治会等地域の取り組みを充実する	民間活動団体を充実する	その他	人権意識は向上しているので特に取り組む必要はない	個人の意識の問題なので取り組む必要はない	わからない	無回答
10歳代	14	28.6	—	57.1	7.1	—	28.6	—	—	—	28.6	—
20歳代	54	35.2	24.1	66.7	25.9	7.4	9.3	1.9	—	—	18.5	—
30歳代	77	44.2	16.9	53.2	28.6	19.5	14.3	—	—	5.2	9.1	1.3
40歳代	96	47.9	31.3	63.5	29.2	12.5	11.5	2.1	2.1	4.2	7.3	1.0
50歳代	116	34.5	23.3	50.9	29.3	16.4	5.2	0.9	0.9	3.4	16.4	1.7
60歳以上	298	31.2	26.2	52.3	31.9	15.4	10.1	1.0	2.7	2.3	15.4	4.4

問 45 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきことは何だと思いますか。(3つまで)

「人権に対する正しい知識を身につけること」の割合が 60.2%と最も高く、次いで「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」の割合が 46.2%、「自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること」の割合が 40.2%となっています。



【性別】

性別でみると、女性で「家庭内での家族の権利を大事にすること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	人権に対する正しい知識を身につけること	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること	自分の生活している地域の人々を大切にすること	家庭内での家族の権利を大事にすること	学校・職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと	その他	特にすべきことはない	わからない	無回答
男性	304	57.9	43.8	41.8	22.0	10.5	31.9	1.0	1.6	9.5	1.0
女性	349	61.9	48.7	39.0	20.1	16.3	32.7	0.6	0.9	7.7	1.7

【年齢別】

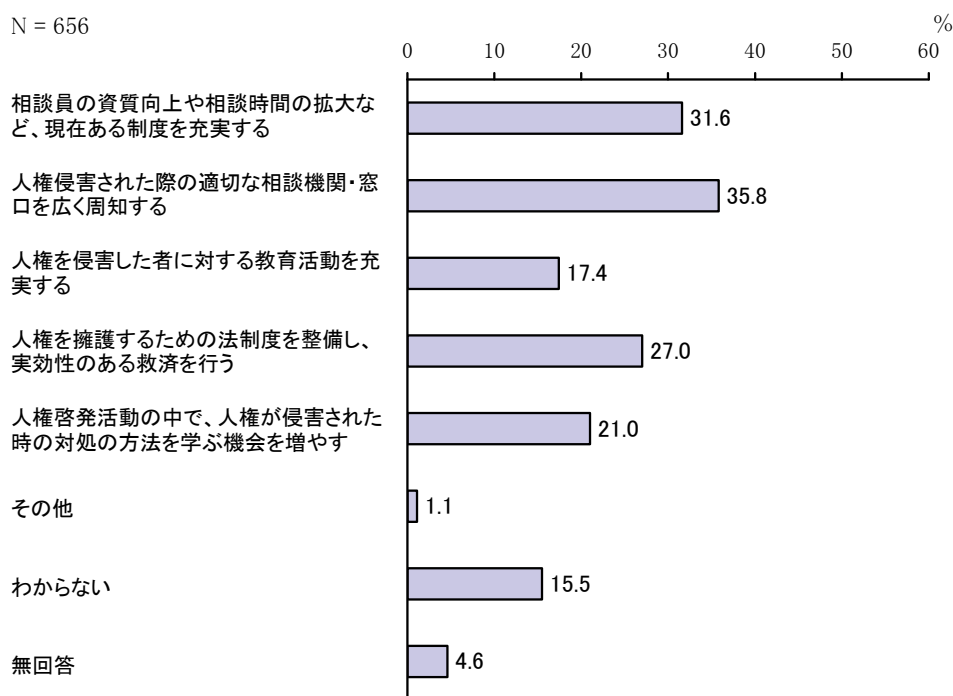
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「因習や誤った固定観念にとらわれないこと」の割合が高くなっています。また、10歳代で「学校・職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	人権に対する正しい知識を身につけること	因習や誤った固定観念にとらわれないこと	自分の権利ばかりでなく他人の権利を尊重すること	自分の生活している地域の人々を大切にすること	家庭内での家族の権利を大事にすること	学校・職場で、人権を尊重する意識を高めあうこと	その他	特にすべきことはない	わからない	無回答
10歳代	14	42.9	42.9	21.4	28.6	14.3	57.1	—	—	14.3	—
20歳代	54	59.3	44.4	38.9	14.8	9.3	37.0	—	—	14.8	—
30歳代	77	53.2	45.5	41.6	22.1	19.5	32.5	1.3	1.3	5.2	—
40歳代	96	61.5	59.4	36.5	18.8	13.5	36.5	1.0	1.0	7.3	1.0
50歳代	116	61.2	45.7	41.4	16.4	9.5	28.4	0.9	0.9	10.3	0.9
60歳以上	298	62.1	43.0	41.9	23.5	14.4	30.2	0.7	1.7	7.7	2.3

問 46 人権侵害に対する相談や救済を行うことについて、どのような点に注意が必要だと思いますか。（2つまで）

「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する」の割合が 31.6%、「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」の割合が 27.0%となっています。



【性別】

性別で見ると、男性で「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する	人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する	人権を侵害した者に対する教育活動を充実する	人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う	人権啓発活動の中で、人権が侵害された時の対処の方法を学ぶ機会を増やす	その他	わからない	無回答
男性	304	29.3	38.8	16.8	29.9	20.4	2.0	13.5	4.6
女性	349	33.8	33.2	18.1	24.6	21.8	0.3	16.9	4.6

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する」の割合が高くなっています。また、60歳以上で「人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度を充実する	人権侵害された際の適切な相談機関・窓口を広く周知する	人権を侵害した者に対する教育活動を充実する	人権を擁護するための法律制度を整備し、実効性のある救済を行う	人権啓発活動の中で、人権が侵害された時の対処の方法を学ぶ機会を増やす	その他	わからない	無回答
10歳代	14	21.4	21.4	28.6	28.6	28.6	—	14.3	—
20歳代	54	25.9	37.0	18.5	25.9	14.8	5.6	22.2	3.7
30歳代	77	28.6	37.7	22.1	27.3	26.0	2.6	11.7	2.6
40歳代	96	32.3	32.3	18.8	31.3	19.8	1.0	14.6	5.2
50歳代	116	39.7	26.7	12.9	31.0	22.4	0.9	18.1	1.7
60歳以上	298	30.5	40.6	16.8	23.8	20.1	—	14.8	6.4